

平成26年度 事業報告書

社会福祉法人 芙蓉会

法人本部

事業概要報告

法人理念
「自分を愛する
ように、あ
なたの隣人を
愛せよ」の下、
当法人は 111
年の歴史と共
に地域に愛さ
れ、民間社会
福祉としての
活動と役割を



果たすべく、社会福祉支援を要する人々への相談・援助・支援、地域福祉活動、社会貢献等々に重点をおきながら事業を推進いたしました。

平成 26 年度は、社会福祉法人に求められている高い公益性（適正な法人経営）や事業経営の透明性をめざして積極的な情報開示に努め「社会福祉法人現況報告書」を独立行政法人福祉医療機構（WAM NET）、全国社会福祉経営者協議会に情報提供し地域社会の信頼性を一層深めるよう努力いたしました。

基本目標

地域における福祉の発展・充実を担う中核的な組織として、公共的・公益的な事業を県及び関係機関・団体等と連携・協働して推進します。

健全な法人運営や施設経営管理の適正化ならびに職員の処遇向上と人材育成、利用者サービスの質の維持向上に努め地域住民の皆様に対する理解と信頼性を高めて参りました。



理事会



評議員会

1 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

開催年月日	出席者数			議 案
	理 事		監 事	
	出席	書面出席		
H26. 5. 14	5	3	2	1. 複合型サービス施設「みぎわの里」建設に係る業者選定について
H26. 5. 28	6	2	2	1. 平成 25 年度事業報告について 2. 平成 25 年度決算報告について 3. 平成 25 年度監事監査報告について 4. 定款変更届出申請について 5. 欠員に伴う評議員の選任（案）について 6. 特別養護老人ホーム施設長人事案件について 報告事項 1. 地域密着型複合サービス施設建設について 2. 理事長専決事項について 3. 特別養護老人ホームみぎわ園平成 27 年 4 月施設基準更新申請について
H26. 10. 22	7	1	1	1. 平成 26 年度追加・変更事業計画（案）について 2. みぎわの里施設整備資金 50,000 千円借入（案）について 3. 平成 26 年度第一次資金収支補正予算（案）について 4. 欠員に伴う評議員の選任（案）について 報告事項 1. 地域密着型複合サービス施設建設について 2. 苦情（騒音）報告について 3. 家庭的養護推進計画について 4. 理事長専決事項について 5. 実施指導結果について 6. 理事長報告事項について
H26. 12. 17	8	0	2	1. 定款変更認可申請（案）について 2. 平成 26 年度指導監査実施結果について 3. 平成 26 年度追加事業計画（案）について 報告事項 1. 地域密着型複合サービス施設建設について 2. 「みぎわの里」竣工式・内覧会について 3. 平成 27 年 4 月に向けた特養事業（施設基準上の変更点）について 4. ひまわり園「フローリング張替改修工事」入札結果について

開催年月日	出席者数			議 案
	理 事		監 事	
	出席	書面出席		
H27. 3. 25	7	0	2	1. みぎわの里建設に係る資金収支補正予算（案）について 2. 徴収不能金処理について 3. 資金の積立（案）について 4. 平成 26 年度第二次資金収支補正予算（案）について 5. 平成 27 年度事業計画（案）について 6. 平成 27 年度資金収支予算（案）について 7. 任期満了に伴う評議員の改選について 報告事項 1. 理事長の専決事項について

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数		議 題
	評議員	監事	
H26. 5. 28	14	2	1. 平成 25 年度事業報告について 2. 平成 25 年度決算報告について 3. 平成 25 年度監事監査報告について 4. 定款変更届出申請について 報告事項 1. 地域密着型複合サービス施設建設について 2. 理事長専決事項について 3. 特別養護老人ホームみぎわ園平成 27 年 4 月施設基準更新申請について
H26. 10. 22	15	1	1. 平成 26 年度追加・変更事業計画（案）について 2. みぎわの里施設整備資金 50,000 千円借入（案）について 3. 平成 26 年度第一次資金収支補正予算（案）について 4. 欠員に伴う理事の選任（案）について 報告事項 1. 地域密着型複合サービス施設建設について 2. 苦情（騒音）報告について 3. 家庭的養護推進計画について 4. 理事長専決事項について 5. 実施指導結果について

H26. 12. 17	18	2	1. 定款変更認可申請（案）について 2. 平成 26 年度指導監査実施結果について 3. 平成 26 年度追加事業計画（案）について 報告事項 1. 地域密着型複合サービス施設建設について 2. 「みぎわの里」竣工式・内覧会について 3. 平成 27 年 4 月に向けた特養事業（施設基準上の変更点）について 4. ひまわり園「フローリング張替改修工事」入札結果について
H27. 3. 25	17	2	1. みぎわの里建設に係る資金収支補正予算（案）について 2. 徴収不能金処理について 3. 資金の積立（案）について 4. 平成 26 年度第二次資金収支補正予算（案）について 5. 平成 27 年度事業計画（案）について 6. 平成 27 年度資金収支予算（案）について 7. 任期満了に伴う役員の改選について 報告事項 1. 理事長の専決事項について

2 監事監査の実施

開催年月日	担当監事	項 目
H26. 5. 9	勝又長見	H25 年度業務執行状況
	鈴木英之	H25 年度財産状況



会計監査



処遇監査

3 役員研修会の参加

開催年月日	研 修 場 所	内 容	参加者
H26. 4. 14	グランシップ	監事監査研修	監事 1 名 理事 1 名

4 寄付金

3, 483, 789 円 （本部 1,556,956 円、ひまわり園 1,441,786 円、みどり園 142,047 円、みぎわ園 343,000 円）

5 植松茂子奨学基金

45,384,373 円（平成 27 年 3 月 31 日現在）

6 法人行事

開催年月日	行 事 名	場 所
H26. 4. 1	辞令交付式	みぎわ園「地域交流室」
H26. 4. 8	新任職員研修会	みぎわ園「地域交流室」
H26. 6. 4	美化運動（春）	芙蓉会敷地内
H26. 6. 10	創立記念式典	みぎわ園「地域交流室」
H26. 8. 7	美化運動（夏）	芙蓉会敷地内
H26. 8. 23	夏祭り	芙蓉会グラウンド
H26. 10. 2	美化運動（秋）	芙蓉会敷地内
H26. 10. 19	市民福祉祭り	富士市中央公園
H26. 10. 20	普通救命講習会（第1回）	みぎわ園「地域交流室」
H26. 11. 17	普通救命講習会（第2回）	みぎわ園「地域交流室」
H26. 12. 11	普通救命講習会（第3回）	みぎわ園「地域交流室」
H26. 12. 25	クリスマス会	ホワイトパレス
H27. 1. 5	新年挨拶会	みぎわ園「地域交流室」



辞令交付式



新任職員研修



創立 111 周年記念式典



夏祭り



市民福祉祭り



美化運動



クリスマス会



新年挨拶会

7 機関誌発行



第 44 号 H26.4 発行



第 45 号 H26.7 発行



第 46 号 H26.10 発行



第 47 号 H27.1 発行

8 ホームページ更新 61 回

主な公開

- ・ H26 年度法人行事、寄附行為等
- ・ H25 年度事業報告、決算書
- ・ H26 年度広報誌掲載
- ・ H26 年度職員募集掲載
- ・ H27 年度職員採用情報
- ・ H26 年苦情受付情報
- ・ H27 年理事長新年挨拶
- ・ H27 年度事業計画、予算書



9 施設職員状況

(1) 採用・退職

施設名	採用者		退職者	
	正 規	非常勤	正 規	非常勤
法人本部	—	—	—	1 名
ひまわり園	1 名	2 名	3 名	2 名
みどり園	5 名	11 名	1 名	9 名
みぎわ園	9 名	7 名	6 名	3 名
計	15 名	20 名	10 名	15 名

(2) 労災・傷病・休職・産休・育休等

施設名	労 災	傷 病	休 職	産休・育休
法人本部	—	—	—	—
ひまわり園	—	—	—	—
みどり園	—	—	1 名	—
みぎわ園	—	3 名	2 名	4 名
計	0 名	3 名	3 名	4 名

10 苦情対応

苦情：0 件

お問い合わせ：14 件

(法人本部 0 件、ひまわり園 7 件、ひろみ 1 件、みどり園 5 件、みぎわ園 1 件)

児童養護施設 ひまわり園（定員 90 名）

事業概要報告

平成 23 年に「社会的養護の課題と将来像の実現に向けて」が厚生労働省から発表され、社会的養護の必要な児童を取り巻く制度は、大きく変容しようとしています。これに沿って施設の小規模化、地域分散化、里親委託等、家庭的養護の推進が今後の社会的養護政策の柱として進められることになりました。平成 26 年度は静岡県下においても、県内児童養護施設、乳児院、里親、行政機関で 4 回の検討会を行い、各施設の「家庭的養護推進計画」と「都道府県推進計画」が策定されました。それによって、今後はひまわり園も施設の小規模化、小規模グループケア化、地域分散化などを検討していくことになります。



平成 24 年度以降、静岡県は家庭的養護の推進に向けて、里親委託を積極的に進めており、静岡県の里親委託率は 20% を超え、静岡市では 40% に届く勢いです。里親委託は基本的に乳幼児が多いため、施設入所児童の幼児の割合は年々減少してきています。

平成 26 年度のひまわり園は 74 名（幼児 8 名、小学生 34 名、中学生 17 名、高校生 14 名）で事業を開始いたしました。1 年間の新規入所児童数は 12 名（25 年度 3 名）で退所児童数は 14 名（25 年度 11 名）でした。在籍児童数は月平均 78 名（充足率 86.7%）でした。

入所理由内訳は、身体的虐待 4 名、ネグレクト 1 名、実母の入院 4 名、養育困難 2 名、経済的問題 1 名で、約半数が虐待による入所でした。ひまわり園入所児童の約 70% は母子家庭ですが、26 年度の入所児童 12 名の内 7 名（58.3%）は両親（継父母を含む）が揃っているにも関わらず保護されたケースでした。みどり園からの措置変更は 3 名でした。

退所理由内訳は、家庭引き取り 11 名、就職自立 2 名、措置変更（知的障害児施設）1 名でした。

一時保護受入児童数は延べ 15 名（7 件）で、うち 8 名（5 件）は虐待によるもので、警察が介入したケースが 6 名（3 件）ありました。富士市からの委託契約で実施しているショートステイは延べ 6 名でした。

26 年度に高等学校を卒業した児童 3 名のうち、2 名は企業に就職し、1 名は専門学校に進学しました。中学校を卒業した児童は 8 名おり、公立高校 3 名、私立高校 4 名、特別支援学校高等部に 1 名進学しました。

平成 25 年度に引き続き、26 年度も静岡県からの委託事業として「被虐待児童等処遇向上モデル事業」（委託費 1,500,000 円）を実施しました。ひまわり園では学習指導、ヨガ教室、ハンドベル指導の 3 つの事業を学力向上、情緒の安定を目的として取り組みました。（資料 1. 2. 3）

処遇向上モデル事業 1, 537, 717 円（委託費 1, 500, 000 円）

内訳 ヨガ教室 607, 932 円 ハンドベル 122, 785 円 学習補助事業 1, 537, 717 円



【ハンドベルの演奏】



【ヨガ教室】

重要事項報告

26 年度は、児童による性的逸脱行動が 2 件発生してしまいました。いずれも特別支援学級に通う児童でしたが、問題の根底には、自己肯定感および現実検討力の低さ、適切な人間関係の構築力の低さなどがあると考えられます。また、保護者が普通に社会生活を送っているにもかかわらず、いっこうに家庭復帰が進まない苛立ちの中で施設生活を余儀なくされている子どももあり、集団生活の中での個別の発達状況に応じた生活支援の難しさと共に保護者対応の困難さ痛感しました。

施設整備として「社会的養護入所者環境改善事業費補助金」の交付を受けて、3 階ユニット（さくら・りんどう）のフロアの張替工事（3, 240.000 円）を実施しました。平成 8 年度の改築以来 18 年が経過して老朽化も目立ち始めており、複数年かけて徐々に整備していく必要があります。

事故およびヒヤリハット報告（資料 17）

①事故報告数 4 件（園内 3 件 園外 1 件）

②ヒヤリハット報告数 1 件

苦情および要望に関する報告（資料 18）

報告数 5 件 内訳 ケアに関すること 3 件 その他 2 件

施設整備等

①3 階床の張り替え 3, 240, 000 円

修繕

①防火ガラス修繕 766, 800 円

②非常灯、誘導灯交換 561, 600 円

③照明器具修繕 213, 840 円

基本目標 1

家族と離れて生活する子どもたちが、安心して安全に生活できる環境を保障し、権利擁護意識の向上に努めます。（資料4．5）

子どもたちが安全かつ安心して生活できる環境作りの一環として、職員自身による毎月の接遇チェックと年1回の自己評価、子どもたちに対しては年2回の生活意識調査を実施するなど権利擁護意識の向上に努め、入所依頼があったケースでは事前の見学と説明を2ケース行い、安心して生活を営むことができるよう配慮しました。

心理対応としては、小学校2年生から4年生までの男女14名を対象にセカンドステップ（暴力防止プログラム）を実施しました。その他、5名の児童に対する個別心理面接および児童相談所の心理司による被虐待児心理ケア事業を幼児2名に実施しました。また、性教育の学習会を幼児から高校生までの6グループに、年代に応じたテーマで開催しました。

基本目標 2

生活を営む主役である子どもたちが、日常生活において主体的に考え取り組むことができるように支援します。（資料6．7）

「ひまわりの種」（児童会）を小学生、中高生それぞれに開催し、生活のモラル向上、行事開催、野菜の栽培など様々な分野で話し合い、自主的な活動を展開しました。まだまだ活動が一部の児童に偏ってしまっているという問題もあり、今後どのように活動を展開していくのが課題となります。

毎年行われる静岡県児童福祉施設球技大会では、ソフトボール大会で小学生、中高生共に準優勝、サッカー大会では小学生男子、小学生女子、中高生男子が優勝、中高生女子が準優勝と素晴らしい成績を収め、日々の努力の成果を結果につなげることができました。また、サッカー大会においては小学生女子、中高生男子、中高生女子が、礼儀やマナーを基準に審判が選考するフェアプレイ賞をいただきました。



【第43回夏季球技大会 小学生】



【第43回夏季球技大会 中高生】



【第37回夏季球技大会 中高生】

基本目標 3

子どもたちの地域社会活動を支援し、集団の中での個の自立と技能向上を目指します。また地域との関わりを持ち、地域住民としての自覚が育つように支援します。（資料 8）

ボーイスカウト富士一団（13 名登録）では、例年実施している「緑の募金」活動やキャンプなどの他、「全日本女子ソフトボール大会」の運営に協力しました。子ども会のドッジボール大会では、吉原小学校で高学年は男女とも優勝、低学年混合が準優勝で、中部ブロック大会も勝ち進み、3 チームとも中央大会に進出するという活躍を見せてくれました。芙蓉会フットボールクラブ（14 名登録）では富士市サッカースポーツ少年団 5 年生リーグに出場して優勝しました。また、天王祭のおみこし担ぎや、防災訓練、今泉地区のソフトボール大会に職員と子どもで参加し、地域との交流に努めました。

毎年開催される「富士市民福祉まつり」では、幼児のダンスの披露や子どもたちの協力を得て手作りドーナツの販売を行い、福祉への理解を広げるよう努めました。



【子ども会ドッジボール大会】



【芙蓉会フットボールクラブ】



【子ども会お楽しみ会】



【ボーイスカウト本栖湖キャンプ】



【富士市福祉まつり】

基本目標 4

社会的自立を目標とする子どもたちを支援します。（資料 10）

静岡県から委託を受けた（株）メディアベースの協力で、高校生を対象に学年ごとに年 6 回の「就業セミナー」を実施して、職業意識の向上を目指すと共に社会人としての基礎を学ぶ機会を持ちました。その他にも学習指導、音楽指導、茶道などボランティアさんの協力を得て、学力向上や情操教育に取り組みました。

中学生ではサッカーで東部トレセン、高校生では女子サッカーの静岡県選抜に選ばれて韓国遠征に参加するなど様々な活躍のチャンスをいただき、ひまわり園としても可能な支援を行いました。また、部活動のキャプテンに選ばれた子どもも複数おり、リーダーシップを発揮して活躍しました。高校の課題研究で福祉機器製作に取り組んで大学から表彰を受けた児童もあり、子どもたちの持つ可能性の広がり大きな期待を寄せた一年でした。

アフターケアとしては、卒業生からの種々の相談（遺産相続、離婚問題、育児相談等）への対応や職場で問題行動を起こしてしまった児童に関する職場との話し合い、一時保護などを行いました。また、植松茂子奨学基金の支援で看護専門学校に進学した卒園生（25 年 9 月退所）が 27 年 3 月に無事卒業して看護師国家試験にも見事合格して就職したこと、小学生の時からサッカーを続けていた卒園生が、高校を卒業して就職した後にフットサルの県代表に選ばれたことなど嬉しいニュースもありました。

26 年度末に高校を卒業して就職した女子児童 1 名に対して、家族問題における継続的な支援の必要性から、措置解除後も施設の別棟（旧高校生寮）を利用して通勤できるように配慮しました。



【ピアノ発表会】

基本目標 5

家族再統合のための保護者との関係強化および行政機関、里親、学校等との社会的養護の連携に努めます。（資料 9. 10）



【メディアベース就業セミナー】

夏期および冬期の一時帰省は 78 名のうち 44 名（56.4%）でした。逆に保護者からの連絡が一切なかった児童は 20 名（25.6%）でした。面会は 121 件ありました。しかし、家族再統合に関しては、数字だけでは図れない複雑な現実があります。その中で子どもの精神的不安がぬぐえず、その不安定さが問題行動に繋がることもあります。子どもの思いを児童相談所との連携の中で、どうやって保護者につなげていくのかは継続的な課題です。

国が目指している社会的養護施策の柱の 1 つに里親委託の拡充があります。ひまわり園では里親を希望する方の認定前研修を委託され、26 年度も 5 件（10 名）の希望者に対する研修を実施しました。新規の里親開拓・支援は児童養護施設にとって今後ますます重要な責務となります。ショートルフランは夏期、冬期共に 6 名、週末里親は年間を通じて 4 名がお世話になりました。

学校との連携では、小中学校と年 2 回の連絡会を実施し、個別ケースでの支援会議を児童相談所、学校、施設で必要に応じて行いました。



【ふじ虹の会との意見交換】



【ふじ虹の会 IFCA セミナー】

基本目標 6

子どもの健康に配慮すると共に、環境の整備、防災教育を推進し、安全な生活を支援します。（資料 1 1． 1 2． 1 3． 1 6）

定期的な健康診断、必要に応じて通院治療、予防接種などを行いました。通院は年間で 651 件（25 年度 888 件）ありました。入院は 3 件あり、「脳動静脈奇形」（高 1 女子）、「疣状母斑」（高 2 女子）、「自然気胸」（高 3 男子）の治療でした。

防災関係では、毎月の自主防災点検、避難訓練を実施して、子どもたちを対象に消火器使用訓練などを実施しました。また、富士市防犯協会の協力で「防犯教室」を開催し、防犯意識、安全意識の向上を図りました。

食事面では、栄養士が献立に工夫（嗜好調査、季節ごとの行事食、個別の誕生日のリクエスト献立など）を凝らして提供しました。特に「卒業・旅立ちを祝う会」の食事は、バラエティに富んだメニューで、子どもたちに大好評でした。



【卒業・旅立ちを祝う会】



【富士防犯協会 防犯教室】

基本目標 7

芙蓉会の歴史と先人の教えを学びつつ、ひまわり園の将来像について検討し、また職員の処遇技術の向上を目指した研修の充実と主体的取り組みの強化を図ります。（資料14）

園内研修では、ひまわり園の歴史に流れる養育観を基礎にして、県内で最も早く設置した「地域小規模児童養護施設」のあり方を職員で共有し、今後の小規模ユニット化を進めるための動機付けとなるよう研修をくみました。その他児童相談所、富士警察少年サポートセンターなど外部講師に依頼して種々の研修を開催しました。園外研修では、静岡県児童養護施設協議会の研修体系が整理され、指導員、保育士のみならず心理、家庭支援、事務、調理などの専門部会の研修が実施され、施設間の情報や課題の共有、意見交換を進めることができました。



基本目標 8

実習生の受入れを継続的に実施して児童養護施設の理解を広げ、後進の指導に努力します。

(資料 15)

26 年度の保育実習は県内外の保育士養成校から 26 名の実習生を受け入れました。また、大学の保育学部や社会福祉学部からの依頼で、学生の見学、希望実習の受入れや大学に赴いて児童養護施設の現状や課題、職員や実習生に求める資質や姿勢についてガイダンスを行うなど、児童養護施設に対して理解を深めてもらうと共に次世代の児童福祉を担う人材育成に努めました。



【虐待防止日本一周の井上さん来園】



【企業・福祉セミナー 静岡福祉大学】

【平成 26 年度 行事の記録】



【5 月 須津川バーベキュー】



【5 月 絵画展表彰式】



【5 月 小西さん宅で芋掘り】



【7 月 富士登山】



【8月 海水浴】



【8月 マリンプール】



【藤子・F・不二雄ミュージアム】



【富士市 福祉まつり】



【11月 ADEKA 労組餅つき慰問】



【12月 七五三】



【11月 納得住宅工房招待】
東京ディズニーランド



【12月 クリスマス】



【1月 初詣で】



【3月 ボーリング】



【3月 横浜みなとみらい】



【3月 卒業・就職を祝う会】

地域小規模児童養護施設ひろみ（ひまわり園加算事業）

事業概要報告

平成 26 年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け(承認年月日:平成 26 年 4 月 1 日)、本体施設の支援のもと、24 時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。

平成 26 年度は、中学生 3 名、高校生 2 名でのスタートとなりました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持てるように努めました。

高齢児が多い為、出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。その一環である児童会「キンモクセイの会」と、子どもと職員の話し合いの場である「ひろみ会議」の充実を図りました。行事についても、この話し合いでの意見をもとに計画、実行致しました。

また地域との関係を大切にすることを心がけました。地域活動への主体的な参加をすると共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切することを意識しました。地域の防災訓練やバーベキュー、運動会等の行事へ主体的に参加、協力することで、町内会の方から感謝の言葉を頂けることができました。

また児童福祉施設の小規模化、個別化が求められている中で、他施設の見学や資料提供などの依頼がありましたので、積極的に受け入れていきました。そこでは地域小規模施設の現状や課題、ひろみが培ってきた実践的な知識を外に発信することが出来ました。



重要事項報告

植松茂子奨学金の支援を受け、介護福祉系の専門学校に通っていた女子が退所し、一人暮らしをしながら通学をしておりましたが、生活の乱れや本人の気持ちの変化等があり、結局専門学校を卒業することが出来ませんでした。このことはひろみ職員にとっても痛恨の極みではありますが、このことを十分に反省し、今後のアフターケアのあり方や、奨学金の活用方法について見直していかなければなりません。

また年度途中で職員が退職し、職員の補充が出来なかった為、約 3 ヶ月間 2 名の職員で勤務しなければいけない状態がありました。今後は職員確保の方法や本園との協力体制の強化を課題として取り組んでいきたいです。また入所児童の確保が出来ず、定員 6 名を充足出来ない状態が続いてしまいました。このことも大きな課題として残りました。



恩賜記念みどり園 （定員 30 名：暫定定員 24 名）

事業概要報告

平成 26 年度は暫定定員 24 名で事業を実施しました。年度当初の在籍児童数は 19 名でのスタートでした。年間を通じて在籍児童が 23 名を超えることがなく、定員 30 名での充足率は年平均で 73%という結果になりました。これは、厚生労働省が推進している「家庭的養護」に関する施策、特に里親委託推進の影響が強く出てきていると考



えられますが、入所児童 11 名（一時保護からの変更 4 名を含む）、一時保護児童 9 名計 16 名中 6 名が被虐待児であり、内 4 名が頭蓋骨骨折や、揺さぶられ症候群による硬膜下血腫を有する重度の身体虐待を受けた乳児、親の同意が受けられずに口唇口蓋裂の手術さえできない状態で緊急一時保護された子ども達でした。

また、退所児童 11 名中 2 名が養育里親家庭に委託されましたが、里親委託率は前年の 45.4%から 18.2%と大幅に減少しました。措置入所で在籍していた 30 名中 15 名が被虐待児の認定を受けた子ども達のため、家庭復帰率は 36.4%と前年と変わりませんが、特別養子縁組の対象となることが難しい子や、発達上の遅れが顕著で、児童養護施設や知的障がい児施設への措置変更が難しく、3 歳を過ぎても受け入れ先が見つからない幼児が増えていることも原因の一つと思われます。 [資料 1－(1)～(2) 参照]

平成 26 年度はみどり園としての家庭的養護推進計画を作成しました。建設してから 40 年経過する園舎の建て替えを平成 34 年頃に設定すると共に、発達上の課題を多く有する乳幼児の治療を含めた養育体制の構築や、暫定定員が続く定員の削減、養育単位の小規模化を推進するための方策に今後 15 年掛けて取り組む計画としました。

この計画の中に記載した定員の削減を考慮し、平成 26 年度は暫定定員 24 名の常勤職員配置としましたが、年度当初に看護師が定員を満たしていない状態でしたので、看護師の不足分を非常勤保育士の雇用で補いました。このため小規模グループケアは実施しませんでした。常勤看護師については年間を通して募集しましたが、補充ができず非常勤の准看護師 2 名の採用にとどまりました。

基本目標や実施目標に掲げた、愛着形成の促進による「よりよい関係作り」に関する取り組みは、ユニット制による養育や、非常勤保育士や学生アルバイトの雇用を増やすことにより、日中一人の養育者が対応する児童数を少しでも減らすという、養育単位の小規模化への取り組みや、静岡県による被虐待児等処遇向上モデル事業を受託し、児童精神科医

山崎知克医師に年4回の愛着行動評価と診察及び、ビデオカンファレンスの実施によるスーパービジョンを受けた結果、当初は当園の対象児童の75%に気質的・環境的な障がいの傾向があるといわれていましたが、対象児童で4回以上検査を実施した14名中6名に数値的改善が認められる結果が出ました。それらの子どもを正常発達に近づけるための支援の方法や、発達障害を有する子ども達に有効な関わり方を学ぶ機会を得て、子ども達への支援の充実を心掛けました。モデル事業では他に、中村由実子講師による隔週1回のリトミックのセッションを幼児のグループで実施しました。この他にも、小池喜子さんの協力を得て、週2回、発達上の課題が顕著な幼児4名にプレイセラピーを実施するなど、子ども達の心の安定や、より一層の関係性の向上に努めました。

また、平成24年度より設置した第三者評価・自己評価委員会は、毎月1回委員会を開催し、園内の現状の評価や、前年に作製した運営面や業務内容についての改善に向けた計画の取り組み状況の確認や見直しを実施し、より子ども主導の養育を目指して課題克服への取り組みを進めることができました。

重要事項報告

(1) 恩賜記念みどり園家庭的養護推進計画の策定について

静岡県より策定を求められていた家庭的養護推進計画を策定いたしました。

「家庭的養護」の定義が明確でないことや、静岡県家庭的養護の推進に向けた「都道府県推進計画」検討会議の席上で「乳幼児の保護は原則里親」という方針であることを明言されました。

また、入所してくる乳幼児は虐待を受けたり、不適切な養育で発達が遅れていたり、自閉症スペクトラム症候群(ASD)やアタッチメント障がい(RAD)の気質的要因を持っている子どもが増加し、発達の遅れから3歳を過ぎても措置変更先が見つからない等の現状があり、より細やかな発達支援を必要としています。

乳児院は「養育単位の小規模化」ということで、児童養護施設のように完全な小規模化は求められていませんが、職員数の確保が担保されれば完全な小規模グループケアは理想です。また、40年を経過した園舎は老朽化していることや、小規模化を推進する上では間取りの変更が難しいことや、24時間稼働しながら改築しなければならないことなどを踏まえ、みどり園の将来像について検討し、以下の内容を盛り込みました。

みどり園家庭的養護推進計画の内容

- ① 養育単位の小規模化を目指す。(加算が担保されれば小規模グループケアを実施)
- ② 定員の削減を行う。(定員20～24名：平成28年を目途に静岡県と調整を行う)
- ③ 発達上の課題が多い乳幼児とその保護者に対して治癒的養育の導入や、ペアレントトレーニングの実施できる体制を構築する。(発達臨床心理士等の雇用)
- ④ 園舎の新築移転もしくは改築(平成34年以降の改築で計画を進める)
※新築移転の場合は土地の購入についても検討する。

（２）感染症について

平成 26 年 8 月 21 日静岡県富士保健所からの連絡で、業務委託による派遣職員が腸管出血性大腸菌 O-157 に感染し 8 月 17 日より入院したが、8 月 16 日に洗濯業務についているという報告を受ける。園内の児童及び職員の健康状況を調査し、保健所に報告を行いました。幸い感染を疑う症状を示す児童や職員はいませんでした。8 月 31 日迄 10 日間の感染症対策を実施しました。

平成 26 年 11 月 20 日 1 歳 6 ヶ月児と 2 歳児の 2 名が RS ウイルス感染の上気道炎と診断され、感染症対策を実施しましたが、7 ヶ月児～2 歳児の 8 名が感染しました。

感染症対策期間は感染児の隔離解除から 1 ヶ月を目途に実施していますが、市内にインフルエンザや感染性胃腸炎の流行が続いたため、平成 27 年 1 月 7 日に通常の衣類や食器の消毒等を通常に戻すなど一部解除しましたが、職員によるマスクの着用や、手指消毒の徹底等の対策は平成 27 年 3 月 31 日迄実施したので、インフルエンザや感染性胃腸炎等の園内侵入を防ぐことができました。

（３）静岡県による「被虐待児等处遇向上モデル事業」について

平成 25 年より開始された「静岡県被虐待児等处遇向上モデル事業」の実施を本年度も静岡県より依頼があり、静岡県乳児院協議会の共同事業として受託しました。

事業の内容は共通事業として、児童精神科医師山崎知克氏（子どもの心の診療所々長）による、静岡県下 4 施設の乳児院入所児童の愛着行動評価及び、対象児童への支援に関する助言等のスーパービジョンを受け、それを基に日常の養育支援を構築することを目的とした事業と、各施設独自に関係性の向上を図る取り組みを行う 2 本立ての事業となり、当園では 1 歳 6 ヶ月以上の幼児に対して、心と身体的一致・調和を促すとされているリトミックと、発達上の課題が顕著な児童に対して、言葉ではなく遊びの中で子どもに自分のこころを自由に表現させることにより、ストレスで凝り固まった子どもの心を解き放ち、本来の心を取り戻すことを目的にプレイセラピーを実施しました。

- ・ 小児精神科医師山崎知克氏による行動評価・診察及びビデオカンファレンス 4 回

- ① 平成 26 年 6 月 1 日（土） ② 平成 26 年 8 月 2 日（土）
③ 平成 26 年 11 月 1 日（土） ④ 平成 27 年 1 月 18 日（日）

- ・ 中村由美子講師によるリトミック（幼児 13 名対象）

24 回開催（平成 26 年 4 月 16 日より 隔週水曜日開催 1 回 60 分）

- ・ 小池喜子セラピストによるプレイセラピー（対象 4 名※）

110 回開催（平成 26 年 4 月 8 日より 毎週金曜日と隔週火曜日 1 回 40 分） ※

対象児童の内 1 名は児童養護施設ひまわり園への措置変更後も 1 年間継続することができました。

施設整備等

(1) 固定資産計上取得物品等

- | | |
|-------------------|-----------|
| ① トリムイオン浄水器（厨房設置） | 253,800 円 |
| ② 避難車兼お散歩カー（園内用） | 149,500 円 |

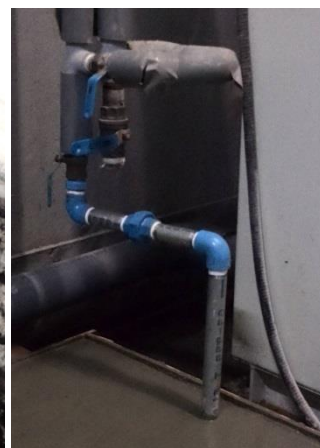
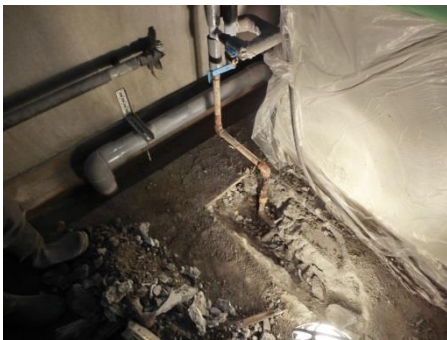
(2) 固定資産廃棄・移管物品等

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① トリムイオン浄水器（厨房設置） | 1 円（残存価格）※老朽化し故障 |
|-------------------|------------------|

(3) 修繕工事等（10万円以上を記載）

- | | |
|---------------------|-----------|
| ① 応接床改修・床暖工事 | 731,160 円 |
| ② 1階トイレ パーティション・扉改修 | 788,400 円 |
| ③ 1階トイレ パーティション・扉改修 | 948,240 円 |
| ④ 給排水逆止弁・側溝蓋取替工事 | 137,700 円 |
| ⑤ 1階居室建具・柵改修工事 | 206,280 円 |
| ⑥ 1階リネン室床張り替え工事 | 861,840 円 |
| ⑦ 1・2階通路・浴室扉取替改修工事 | 698,760 円 |
| ⑧ 2階トイレリモデル工事 | 579,960 円 |
| ⑨ 処遇書類・道具箱・ロッカー改修 | 598,320 円 |
| ⑩ 事務室書庫改修工事（前期） | 937,440 円 |
| ⑪ 事務室書庫改修工事（後期） | 615,600 円 |
| ⑫ 給水工事貯水タンク架台交換改修工事 | 248,400 円 |

施設整備記録写真



給水工事貯水タンク架台交換改修工事

基本目標1

乳幼児の愛着形成を重視し、よりよい関係作りへの取り組みを心がけ、健康に留意し、心身の発達支援を行う

平成 26 年度は、小規模グループケアの申請を行いませんでしたが、日中の非常勤保育士等の雇用を増やし、人手の必要な早朝や、午前中の通院や夕方からの時間帯に勤務をしてもらい、子ども達が担当養育者と個別に過ごす時間や、分散養育の機会を増やすなど、個別養育や養育単位の小規模化を心掛けました。

また、静岡県より受託した、「被虐待児処遇向上モデル事業」で行った、山崎知克医師の愛着関連行動評価とそれに伴う診察では、静岡県内の乳児院入所児童の 72.9% に気質的要因による ASD（自閉症スペクトラム症候群）や、出生後の劣悪な環境による RAD（環境要因による：アタッチメント障害）等の問題を持つという結果が一昨年指摘されましたが、平成 25 年度より継続している山崎医師の「ビデオカンファレンス」を昨年度も年 4 回開催し、子ども達の気になる行動についての有効な関わり方を学ぶ貴重な機会が確保でき、調査での数値では現れない取り組みへの良い評価を得られました。

一方リトミックでは、隔週 1 回 60 分ずつ、幼児のグループで年間延べ 24 回実施することで、子ども達の表現力の助長や、関係性の向上等、支援の機会を設けました。

さらに特別な支援が必要な幼児 4 名に対してプレイセラピーでは対象児の内 2 名に愛着関連行動評価での数値的改善や、安定の傾向が認められています。

また、乳幼児突然死症候群（SIDS）の発症が全国の乳児院で増えていることから、乳児無呼吸モニターや 15 分ごとの安否確認での対応を行っていますが、今年度は東京都にある「日赤医療センター附属乳児院」へ 3 班に分かれての視察研修を実施し、施設長の小児科医師今田義夫先生より、重度心身障がい児等のハイリスク児に対する支援方法について学ぶ機会を設けました。

1. 人工呼吸器「118 救急車を呼ぶ前に」の取り扱い講習会を実施しました。
2. 小児精神科医によるスーパー・バージョン・「ビデオカンファレンス」等を 4 回受けました。
3. 新規採用職員を対象にテーマを定め、「新任研修会を」開催いたしました。
4. 重度の障害児の受け入れを積極的に行い、先駆的支援を行っている「日本赤十字社医療センター附属乳児院」の視察研修をしました。

[資料 7－(5) 参照]

基本目標2

乳幼児の権利擁護について職員に徹底し、より一層充実した支援を心掛ける

全国乳児福祉協議会の「倫理綱領」や、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」を月例会やケース会議の前に唱和する事で、定期的に職員が確認する機会を

設けました。全国乳児福祉協議会の「倫理綱領」や、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」の内容を反映させた、みどり園の行動指針を定め、管理規定の巻末に表記し、自らの行動を振り返られるようにしました。

新規採用職員には新任研修会を定期的に行い、子ども達の権利擁護や職員に心構え、就業規則などの説明に加え、法人創業者や戸巻俊一前理事長の思想等、法人創立について学ぶ機会を設けました。

また、第三者評価・自主評価委員会を毎月1回開催して園内の現状の確認を行った「自己評価」の作製を行うと共に、昨年作製した改善に向けた取り組み・改善計画の検証を行い、改善計画の修正を行い、乳幼児の養育環境の充実や、運営に関する職場環境の整備に努めました。

基本目標3

児童の健康に関する処遇の見直しを行い、感染症等に対する取り組みの強化を行う

本年度も季節性インフルエンザの予防接種は接種可能な6ヶ月以上の入所児童全員(13名)に実施しました。職員も27名(常勤・非常勤全員)が接種しました。

また、平成23年度より摂取を推進している、ヘモフィルス・インフルエンザB型による細菌性髄膜炎や咽頭蓋炎・肺炎等を予防するヒブワクチンを延べ25名の乳幼児に、肺炎球菌による細菌性髄膜炎・菌血症・副鼻腔炎・中耳炎等を予防する小児肺炎球菌ワクチンも延べ25名の乳幼児に接種することができました。この他、昨年度より生後1ヶ月半から8ヵ月迄に3回接種するロタウイルスワクチンを3名に実施しました。首都圏で流行が確認されている「麻疹」に対して有効とされているMRワクチンや、ポリオやBCG、三種混合等の必要な予防接種を含めると年間延べ167件となりました。

感染症に関しては、8月中旬に腸管出血性大腸菌O-157に洗濯業務の委託派遣職員1名が感染し入院しましたが、園内には拡大しませんでした。

また、11月にRSウイルス感染症に8名の乳幼児が感染しました。最年少の7ヵ月児は大事を取って4日間の入院をさせました。例年は乳児の多くに感染者がでますが、幼児のグループが中心となる感染で封じ込めることができました。

入院する児童も4名おりましたが、1名は口唇口蓋裂の手術のための入院でしたので、入院率も数値的には過去10年で2番目に低い数値ですが、実質は一番低い数値であると考えられます。これは感染症委員会のメンバーが年7回の委員会を開催し、定期的な対策の見直しや、徹底の方法を模索し、早期のマニュアルの書き換え等を心掛けてくれた事も要因の一つであり、「早期発見・早期治療」を日常的に心掛けている職員の努力や、協力の表れであると考えます。 [資料2-(3)参照]

最後に、夜間の緊急時の対応について「宿直者」の配置を計画しておりましたが、入所児童の減少と、常勤職員数の削減から勤務態勢が構築できず、本年度も実施することができませんでしたので、今後の継続課題として検討していきたいと思っております。

資料1 平成26年度入所実績表・入退所理由別表

(1)平成26年度入所実績表

暫定定員 24名

区分		実人員				初日 充足率	一時保護	途中入退所			総計	定員30名 充足率	暫定24名 充足率
月別	性別	男子	女子	計	初日 在籍 延べ数	%	延人数	延人数	内訳			%	%
	男子								女子				
平成26年	4月	7	12	19	570	63%	34	17	17	0	621	69%	86%
	5月	8	13	21	651	70%	42	-2	0	-2	691	74%	93%
	6月	8	12	20	600	67%	58	-23	-7	-16	635	71%	88%
	7月	8	12	20	620	67%	0	21	-8	29	641	69%	86%
	8月	7	12	19	589	63%	13	-10	-4	-6	592	64%	80%
	9月	7	12	19	570	63%	73	41	41	0	684	76%	95%
	10月	8	12	20	620	67%	62	10	0	10	692	74%	93%
	11月	8	13	21	630	70%	30	26	0	26	686	76%	95%
	12月	8	14	22	682	73%	31	-6	0	-6	707	76%	95%
平成27年	1月	8	13	21	651	70%	31	0	0	0	682	73%	92%
	2月	8	13	21	588	70%	28	17	0	17	633	75%	94%
	3月	8	14	22	682	73%	31	-23	-17	-6	690	74%	93%
計		93	152	245	7,453		433	68	22	46	7,954	73%	91%

(注) 表中の実人員数は、初日在籍の乳児の数

(注) 表中の延人数は、月の途中で入退所した乳児の数、及び一時保護乳児数を含む

暫定定員算式（総計－一時保護延べ人数＝入所児童のみ）

$$(7,954 - 433 = 7,521)$$

入所児童のみ $7,521 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.11 (90\%) = 22.88$

一時保護含む $7,954 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.11 (90.4) = 24.20$

※ 計算式は厚生労働省雇用均等・児童家庭局からの通知によるものである。

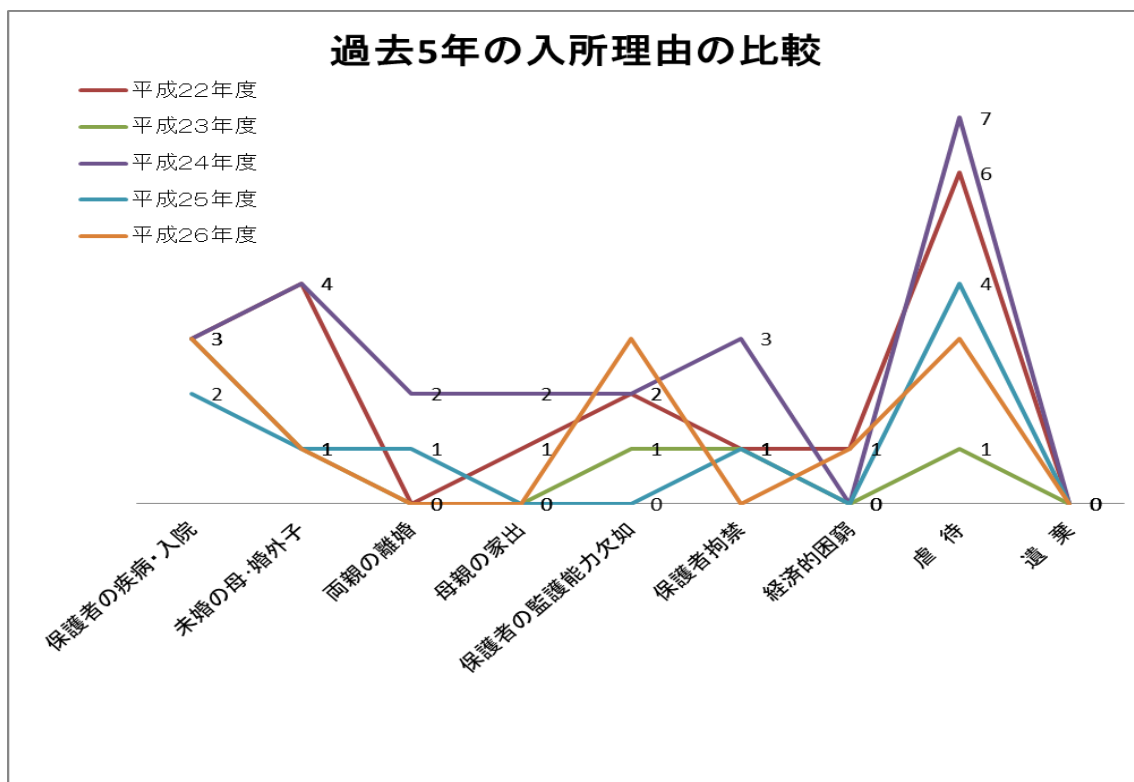
(2)平成26年度 入退所理由別表

入 所 理 由	人数	退 所 理 由	人数
1. 養育困難	8	1. 家庭引取	4
(1) 保護者の疾病・入院	(3)	2. 里親委託	2
(2) 未婚の母・婚外子	(1)	3. 他施設に措置変更	4
(3) 両親離婚	()	内訳	
(4) 母の家出	()	(1) 児童養護施設	(4)
(5) 保護者の養育能力欠如	(3)	(2) ファミリーホーム	()
(6) 保護者拘禁	()	(3) 他の乳児院	()
(7) 経済的困窮	(1)		
2. 虐 待	3	4. その他	1
		強制送還	
3. 遺 棄	0		
合 計	1 1	合 計	1 1
4. 一時保護	9	一時保護 解除(退所)	4
(措置入所への切替4名含)		(家庭引取3)	

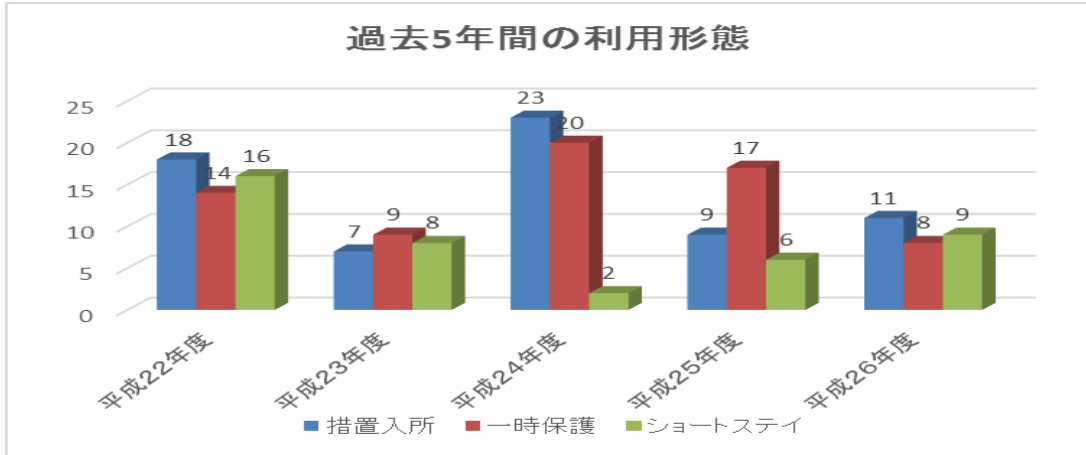
*注1. 表 (1) ～ (2) の人数は入所. 退所理由の細目内訳です。

*注. 2 入所理由は新規入所の人数

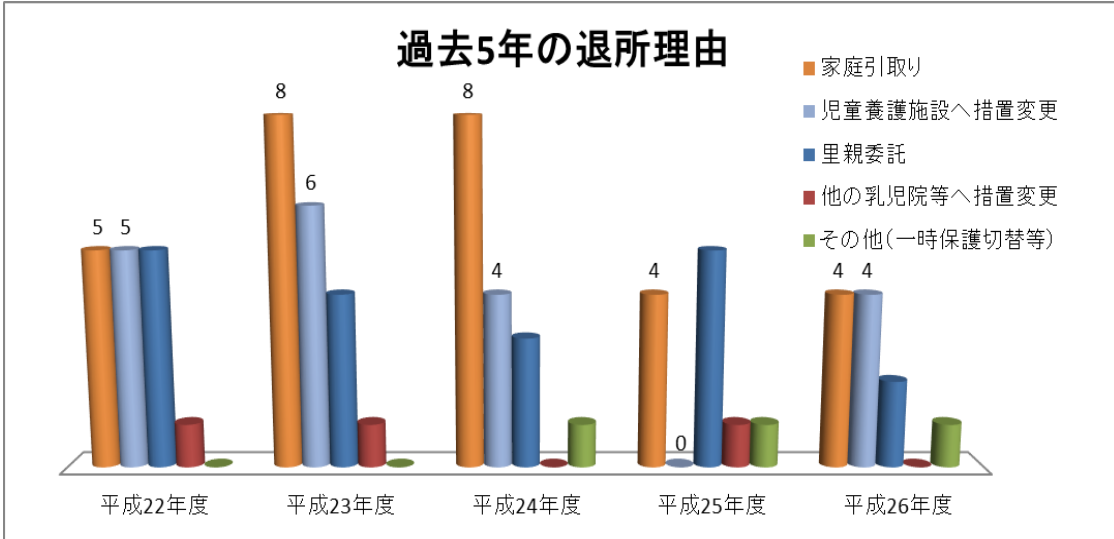
(2)ー① 入所理由の年次比較



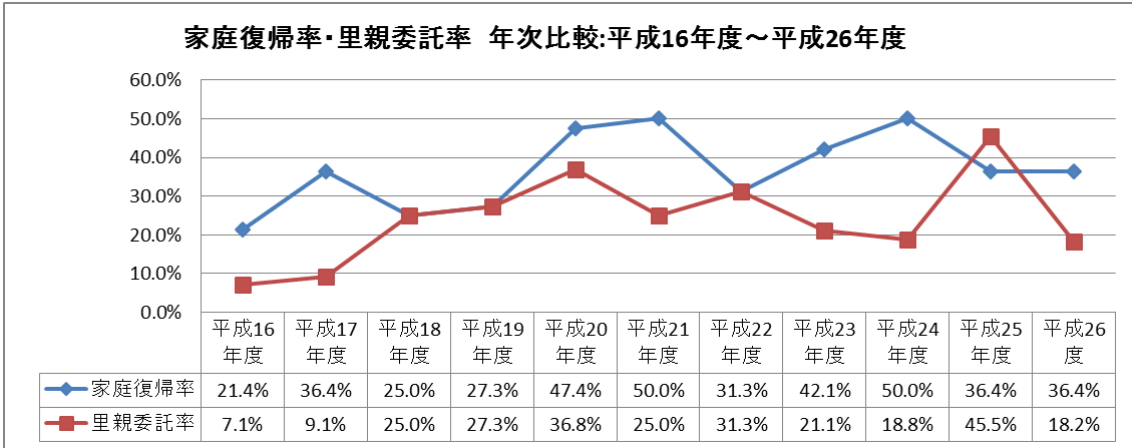
(2)－② 利用形態の年次比較



(2)－③ 退所理由年次比較



(2)－④ 家庭復帰率・里親委託率年次比較



(3) 平成26年度子育て短期支援事業（ショートステイ）利用状況

	富 士 市	
年 齢	利用人数	利用日数
2歳未満	7人	28日
2歳以上	1人	3日
合 計	8人	31日
母 親	1人	3日

資料2 平成26年度疾病科別受診状況及び予防接種、健康診断、事故記録等

(1) 通院及び予防接種・健康診断の記録 総受診数 718 件

① 平成26年度月別通院児童数 (年間461件)

通 院 数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
いいずみファミリークリニック	31	31	19	17	8	14	22	34	11	3	4	6	200
小川内科小児科医院	1	1	2										4
かみで耳鼻咽喉科	16	24	12	8	3	18	18	17	13	7	2	9	147
月岡医院				3			4	2	1	3	11	6	30
前田整形外科		1				3							4
小森眼科クリニック	1	4	1	2						1			9
海野皮膚科		1	2										3
片岡歯科医院				1							1	8	10
中山医院		1	4										5
川村病院				2									2
山田内科胃腸科クリニック								1					1
順天堂大学病院						2				1			3
富士市立中央病院													0
(脳神経外科)			2										2
(整形外科)													0
(小児科)	1	1	4			1	2	1	2			3	15
(形成外科)											1		1
(耳鼻科)													0
(救急外来)		1							1				2
県立こども病院													
(整形外科)						1			1			1	3
(神経内科)		1				1							2
(神経科)			1			1							2
(発達小児科)	1											1	2
(脳神経外科)							2			1		1	4
(形成外科)							1		3				4
(口腔外科)													0
(歯科)							1		1				2
富士市立救急医療センター	1					1	2						4
富士市立こども療育センター													0
通院数合計①	52	66	47	33	11	42	52	55	33	16	19	35	461

①－１ 過去１１年間の通院率比較（年間平均値の比較）

通院率比較：平成16年度～平成26年度														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均	
平成16年度(9,755名)	712	758	796	869	952	872	843	810	837	837	756	713	9,755	名
通院数(1,270名)	67	101	87	62	134	161	173	141	82	98	96	68	1,270	名
通院率：通院数/延べ人数	9.41	13.32	10.93	7.13	14.08	18.46	20.52	17.41	9.80	11.71	12.70	9.54	13.02	%
平成17年度(9,393名)	571	616	630	646	693	812	894	855	853	929	907	987	9,393	名
通院数(1,270名)	78	89	69	45	59	127	128	136	126	81	180	152	1,270	名
通院率：通院数/延べ人数	13.66	14.45	10.95	6.97	8.51	15.64	14.32	15.91	14.77	8.72	19.85	15.40	13.52	%
平成18年度(10,238名)	894	850	893	867	851	817	884	870	868	868	776	845	10,283	名
通院数(1,250名)	99	157	93	191	93	96	98	140	124	40	56	63	1,250	名
通院率：通院数/延べ人数	11.07	18.47	10.41	22.03	10.93	11.75	11.09	16.09	14.29	4.61	7.22	7.46	12.16	%
平成19年度(8,143名)	572	638	632	655	628	618	692	690	746	780	723	769	8,143	名
通院数(541名)	46	56	82	80	55	32	44	19	49	17	32	29	541	名
通院率：通院数/延べ人数	8.04	8.78	12.97	12.21	8.76	5.18	6.36	2.75	6.57	2.18	4.43	3.77	6.64	%
平成20年度(7,771名)	709	688	630	616	496	464	554	657	732	752	651	822	7,771	名
通院数(622名)	31	31	75	59	15	20	94	70	89	60	35	43	622	名
通院率：通院数/延べ人数	4.37	4.51	11.90	9.58	3.02	4.31	16.97	10.65	12.16	7.98	5.38	5.23	8.00	%
平成21年度(9,596名)	705	691	703	783	829	864	930	854	855	815	774	793	9,596	名
通院数(523名)	83	34	38	38	45	29	44	24	27	27	24	110	523	名
通院率：通院数/延べ人数	11.77	4.92	5.41	4.85	5.43	3.36	4.73	2.81	3.16	3.31	3.10	13.87	5.45	%
平成22年度(10,371名)	730	803	823	934	907	902	892	869	914	920	812	867	10,373	名
通院数(874名)	24	72	44	60	96	65	69	94	79	59	135	77	874	名
通院率：通院数/延べ人数	3.29	8.97	5.35	6.42	10.58	7.21	7.74	10.82	8.64	6.41	16.63	8.88	8.43	%
平成23年度(8,971名)	781	805	740	824	806	747	713	690	726	734	694	711	8,971	名
通院数(660名)	66	63	69	79	77	61	56	51	52	26	25	35	660	名
通院率：通院数/延べ人数	8.45	7.83	9.32	9.59	9.55	8.17	7.85	7.39	7.16	3.54	3.60	4.92	7.36	%
平成24年度(7,298名)	447	476	450	528	573	571	638	683	748	700	713	771	7,298	名
通院数(624名)	33	38	28	54	39	31	71	44	74	42	59	111	624	名
通院率：通院数/延べ人数	7.38	7.98	6.22	10.23	6.81	5.43	11.13	6.44	9.89	6.00	8.27	14.40	8.55	%
平成25年度(7,688名)	601	558	543	636	625	667	734	690	701	677	601	655	7,688	名
通院数(617名)	60	50	59	43	31	47	71	41	62	43	50	60	617	名
通院率：通院数/延べ人数	9.98	8.96	10.87	6.76	4.96	7.05	9.67	5.94	8.84	6.35	8.32	9.16	8.03	%
平成26年度(名)	621	691	635	641	592	684	692	686	707	682	633	690	7,954	名
通院数(461)	52	66	47	33	11	42	52	55	33	16	19	35	461	名
通院率：通院数/延べ人数	8.37	9.55	7.40	5.15	1.86	6.14	7.51	8.02	4.67	2.35	3.00	5.07	5.80	%

平均通院率の比較 平成16年度～平成26年度



② 平成26年度 月別健康診断受診数 (健康診断 90 件)

健康診断	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
生後1週間健診													0
1-2ヶ月検診				1	1	1							3
3-4ヶ月健診							1	1	1				3
6-10ヶ月健診		1	1						1				3
1歳-1歳半検診	1				1	1							3
3歳児検診												1	1
定期健診・歯科検診						21					44		65
入所時健診													0
退所時健診(嘱託医)		1	2	2	1				1		2	3	12
健康診断合計②	1	2	3	3	3	23	1	1	3	0	46	4	90

③平成26年度 月別予防接種受診数(予防接種数 167 件)

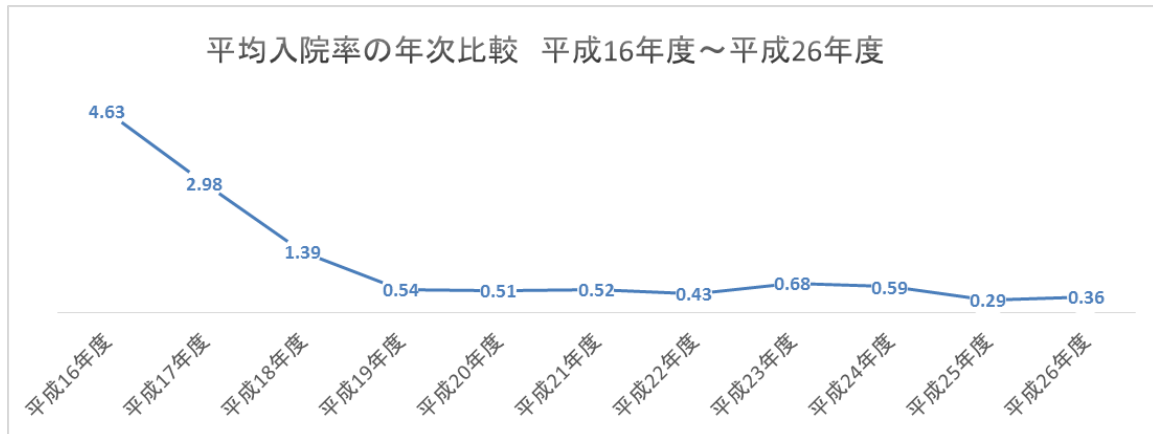
予防接種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
K-2シロップ													0
ポリオ	2			2									4
MRワクチン	2			2						1			5
BCG	1								1	1		2	5
日本脳炎				2	1	1				1		1	6
三種混合1~3回+追加	2		1										3
四種混合1~3回	3	2	1	4		3	1	1	5	2	2	3	27
インフルエンザ							16		16				32
シナジス(RSウイルス)								1	1	1	1	2	6
ヒブワクチン	5	2		1		4	2	1	5	1	1	3	25
小児肺炎球菌ワクチン	4	2		3		4	2	1	5	1	1	2	25
ロタウイルス							2	1	3	1	1	1	9
水痘							17			1	2		20
その他													0
予防接種合計③	19	6	2	14	1	12	40	5	36	10	8	14	167
総計 ①+②+③	72	74	52	50	15	77	93	61	72	26	73	53	718

④平成26年度入院児童数

入院児童数2名 ・ 延べ入院日数31日

1. Y.U(女)入院2014年6月23日～退院6月26日(富士市立中央病院)病名:気管支炎・肺炎 7日
2. S.S(男)入院2014年9月23日～退院9月29日(富士市立中央病院)病名;上気道炎7日
3. I.Y (男)入院2014年12月2日～退院12月15日(県立こども病院)病名:口唇口蓋裂手術14日
4. M.M(女)入院2014年12月7日～退院12月10日(富士市立中央病院)病名:RS感染の疑い3日

④-1. 過去11年間の入院率比較



(2) 定期健康診断

①入所児童定期健康診断

内科検診（年2回）：嘱託医：飯泉哲哉医師

実施日：1回目：平成26年9月12日・2回目：平成27年2月5日

歯科検診（年1回）：片岡歯科医院：片岡俊夫医師

実施日：平成27年2月4日

②職員定期健康診断（新富士病院）

1回目：平成26年9月9日・9月12日・9月17日

2回目：平成27年2月3日・2月6日・2月9日

(3) 感染症の記録

①腸管出血性大腸菌 0-157

感染者数：1名（業務委託による派遣職員）

感染確認：平成26年8月21日 ※保健所からの連絡による

拡大感染防止対策施工期間 平成26年8月21日～平成26年8月31日

②RS ウイルス感染

感染者数：8名（児童8名・年齢：3ヶ月～2歳）

感染確認：平成26年11月20日～平成26年12月7日

感染の疑いの3ヵ月児を4日間入院させる。

拡大感染防止対策施工期間

平成26年11月20日～平成27年1月7日（一部解除）

※最終解除：平成27年3月31日（市内にインフルエンザ等流行のため）

(4) 事故記録等

- ①事故の記録 総事故数 10 件（対象児童 10 名） 通院児童 2 名
（内訳）
- | | | | |
|--------------|-----|------|-------------------------|
| (1) はさみこみ | 0 件 | 通院 | 0 件 |
| (2) 衝突・転倒・転落 | 6 件 | 通院 | 2 件（足を滑らせる、他児と衝突、自ら転倒等） |
| (3) 誤食 | 3 件 | 通院 | 0 件（卵除去食児に卵料理を与える） |
| (4) 誤投薬 | 0 件 | 医師相談 | 0 件 |
| (5) 不投薬 | 1 件 | 医師相談 | 0 件（配薬忘れ） |
| (6) その他 | 0 件 | 通院 | 0 件 |
- ②児童間の事故 噛みつき報告 総報告数 22 件
- ③インシデントレポート（ヒヤリハット） 総数 0 件

資料3 平成26年度 園外保育実施実績

平成 26 年度は、暫定定員が 24 名で常勤職員の定数が減ったことや、重傷な被虐待児の入所が続き、人手や時間を要しました。宿泊による園外保育はできませんでしたが、子ども達の大型バスに乗りたい、アンパンマンに会いたいという要望を受けて、高齢児を対象に横浜市にあるアンパンマンミュージアムへの貸し切りバスで遠足や、小グループでの外出で担当養育者等と 1 対 1 で楽しいひとときを満喫することができました。

園内の生活でも養育担当者と個別に接する機会や、小グループによる行動を奨励し、園庭の芝生や、近隣への散歩等を通して社会性の発達を促進する努力を行いました。

(1) 園外保育の実施状況

園外保育（小規模グループ）

- ① 平成 26 年 9 月 5 日：イオンモール富士宮
- ② 平成 27 年 2 月 24 日：三島市立公園 楽寿園
- ③ 平成 27 年 3 月 1 日：静岡科学館る・く・る（静岡市）
- ④ 平成 27 年 3 月 10 日：まかいの牧場（富士宮市）
- ⑤ 平成 27 年 3 月 13 日：イオンモール富士宮
- ⑥ 平成 27 年 3 月 24 日：イオンモール富士宮

バス遠足（幼児）

- ① 平成 26 年 11 月 6 日：アンパンマンミュージアム（神奈川県横浜市）

(2) 誕生会・お楽しみ会

- ①誕生日…子どもの誕生日毎に担当養育者と 1 対 1 でお祝いをしました。
- ②お楽しみ会（月 1 回）…お楽しみ会の時に、皆で誕生日のお祝いをしました。
- ③七五三…記念に、美影館さんのご好意で記念撮影をしていただいています。

資料4 平成26年度 お楽しみ会献立及び、年間給食数 (単位：人)

月	月 日	行事食献立	年間延人員、給食数	
			延在籍児数	延食数
4	4月6日	筍ごはんおにぎり、から揚げ、アスパラベーコン、 コーン入りポテトサラダ、ミニトマト、ゼリー、麦茶	630	1,771
5	5月5日	サンドイッチ、おにぎり、から揚げ、鯉のぼりウインナー、 枝豆入りポテトサラダ、フライドポテト、 ミニトマト、野菜スープ、サイダー寒	690	2,073
6	6月5日	くまおにぎり、ミートボール、卵焼き、アンパンマンポテト、 ミニトマト、ブロッコリー、野菜ジュース、オレンジ	633	1,908
7	7月7日	お星様おにぎり、流れ星スパサラダ、お星さま人参、 から揚げ、魚肉ソーセージの短冊、野菜スープ、スイカ	640	1,909
8	8月8日	夏彩りそうめん、ポテトサラダ、ブラックベ リージュース、スイカ	628	1,788
9	9月5日	個別園外保育	654	1,921
10	10月25日	ハロウィンカボチャのグラタン、カボチャのサラダ、 バターロール、野菜スープ、グレープフルーツ	669	2,042
11	11月6日	園外保育（アンパンマンミュージアム）	686	2,008
12	12月22日	ジャムサンド、おにぎり、ミートローフのトナカイ、 ポテトサラダのツリー、クリームシチュー、カップケーキ	707	2,022
1	1月7日	年明けうどん（えび天、わかめ、かまぼこ、ほうれん草）、 門松サラダ（ちくわ、きゅうり、チーズ、にんじん）、白玉きなこ	682	2,004
2	2月2日	恵方巻き（玉子、かにかま、きゅうり、桜でんぶ、かんぴょう）、 白身魚のフライ、マカロニサラダ、すまし汁、白玉しるこ	633	1,871
3		5班に分かれて園外保育	689	2,057
年間延べ人数・延べ給食数			7,941	23,374



資料5平成26年度 防災対策、避難訓練等の実施状況

(1)地震想定避難訓練(夜間想定訓練 3回)

※消火訓練は毎月実施した。

	実 施 日	開 始 時 間	参 加 人 員	備 考
1	平成26年 4月10日 (木)	9:00～	児童18名・職員9名	
2	平成26年 5月15日 (木)	9:45～	児童21名・職員9名	
3	平成26年 7月10日 (木)	9:30～	児童21名・職員2名+7名(オプ`サ`-ハ`-)	夜間+通報
4	平成26年11月13日 (木)	9:00～	児童19名・職員2名+6名(オプ`サ`-ハ`-)	夜間想定
5	平成27年 1月 8日 (木)	9:00～	児童20名・職員2名+7名(オプ`サ`-ハ`-)	夜間想定
6	平成27年 3月12日 (木)	9:25～	児童21名・職員16名	

(2)火災想定避難訓練(夜間想定訓練3回) ※非常通報装置を使用し消防署への通報訓練も行う

	実 施 日	開 始 時 間	参 加 人 員	備 考
1	平成26年 6月12日 (木)	9:30～	児童19名・職員3名+6名(オプ`サ`-ハ`-)	夜間想定
2	平成26年 8月14日 (木)	9:30～	児童15名・職員2名+7名(オプ`サ`-ハ`-)	夜間想定
3	平成26年12月 4日 (木)	9:30～	児童19名・職員2名+6名(オプ`サ`-ハ`-)	夜間想定
4	平成27年 2月12日 (木)	9:00～	児童22名・職員14名	

(3)総合防災訓練 (訓練回数4回)

	実 施 日	実 施 時 間	内 容 ・ 参加人員等	備 考
1	平成26年 9月 1日 (月)	8:30～ 9:45	地区防災訓練に職員 2 名を派遣 避難訓練・消火訓練等	※富士地区 総合防災訓練
2	平成26年 9月 2日 (火)	9:00～ 12:05	児童 18 名・職員 22 名 避難訓練・消火訓練・設営・炊出し等	
3	平成26年10月31日 (月)	9:00～ 12:30	児童 16 名・職員 29 名 避難訓練・消火訓練・設営・炊出し等	
4	平成26年12月 7日 (日)	8:30～ 11:30	地区防災訓練に職員 2 名を派遣 避難所設営体験訓練	※富士地区 総合防災訓練

(4)通報訓練 ※緊急連絡網等を使用した通報訓練（実施回数1回・法人14回）

	実 施 日		実施時間:	対 象
1	平成26年10月31日(金)		11:30	みどり園
2	平成26年 4月 1日(金) 平成26年 5月 1日(木) 平成26年 6月 2日(月) 平成26年 7月 7日(月) 平成26年 8月 1日(金) 平成26年 8月21日(木) 平成26年 9月 1日(月)	平成26年10月 1日(水) 平成26年11月 1日(土) 平成26年12月 1日(月) 平成26年12月16日(火) 平成27年 1月 6日(火) 平成27年 2月 2日(月) 平成27年 3月 2日(月)	不定期 8:00~21:00 6月には夜間訓練(22:00)	全 職 員

(5)防災用備品の点検・整備等（実施回数1回）

	実 施 日	実施時間	内 容	備 考
1	平成26年9月2日(火)	13:00~	防災倉庫内備品の点検・確認・入替	



総合防災訓練時の非常用発電機の始動訓練と消火訓練：平成26年9月2日



富士市総合防災訓練（避難所設営訓練）への職員派遣：平成26年12月7日

資料6 平成26年度保守点検実施表

点検項目	業 者 名	点検年月日	備 考
電気工作物	関東電気保安協会	H26. 4. 16	年 6 回
		H26. 6. 17	
		H26. 8. 18	
		H26. 10. 16	
		H26. 12. 16	
		H27. 2. 16	
消防設備	サンコー防災 (消防用設備点検)	H26. 5. 15	年 2 回
		H26. 5. 29	
	富士消防用品商会 (消火器点検)	H26. 6. 5	年 2 回
		H26. 11. 21	
給水給湯設備 空調設備機械等	協栄空調株式会社	H26. 6. 3	年 2 回
		H26. 10. 29	
園舎 殺菌消毒	(株)大富士ダズセンターミック	H26. 6. 21	年 2 回
		H26. 12. 9	
防鼠点検 厨房・食堂	(株)大富士ダズセンターミック	H26. 4. 16	毎 月
		H26. 5. 19	
		H26. 6. 21	
		H26. 7. 16	
		H26. 8. 25	
		H26. 9. 26	
		H26. 10. 21	
		H26. 11. 26	
		H26. 12. 26	
		H27. 1. 30	
		H27. 2. 27	
		H27. 3. 27	
園舎ゴキブリ殺虫施工	(株)大富士ダズセンターミック	H26. 5. 19	年 2 回
		H26. 10. 21	
電解水生成システム	(株)アオノテックコーポレーション	H26. 4. 7	必要に応じて
		H26. 12. 1	
		H27. 2. 19	

点検項目	業 者 名	点検年月日	備 考
布団乾燥機	Mana mana	H26. 7. 24	年 2 回
		H27. 1. 23	
貯水槽清掃	ニッケン消毒(株)	H27. 3. 28	年 1 回
水質検査	静岡県生活化学検査センター	H26. 11. 11	年 1 回
昇降機リフト	大村リフトサービス	H27. 1. 8	年 1 回
建築設備等定期検査	王子不動産(株)	H26. 10. 22	年 1 回
タッチ式自動ドア	ナブコシステム(株)	必要に応じて	
事務機器	(株)N e t		
	(株)ティーケーシステム		

資料7 平成26年度 研修会、会議等参加実績

外部研修会参加人数 44名(開催27回)

法人内研修会等参加人数166名(開催22回)

(1) 全国乳児福祉協議会・関東ブロック乳児院協議会等 県外研修会参加人数14名(7回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成26年6月12日～13日	第49回関東ブロック乳児院研究協議会	横浜市：横浜ベイクォーターホテル	4名
平成26年7月16日～18日	第58回全国乳児院研修会	石川県：ホテル金沢	2名
平成26年10月9日～10日	第64回全国乳児院協議会	高知県：ザグランドパレス新阪急高知	1名
平成26年11月13日～14日	第33回関東ブロック乳児院協議会職員研修会	東京都：第一ホテル両国	4名
平成26年11月17日	12thこどもの虐待死を悼み命を讃える市民集会	東京都：ニッショーホール	1名
平成26年12月18日～19日	全国福祉施設士会主催：施設長実学講座(第3回)	東京都：全社協	1名
平成27年2月12日～13日	平成26年度ファミリーソーシャルワーク研修会	東京都：TOC有明	1名

(2) 静岡県乳児院協議会・東京都社会福祉協議会乳児部会等の業界研修会

①業界研修会等 参加人数 18名 (10回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成26年4月24日	静岡県乳児院協議会栄養・調理研修会	みどり園	3名
平成26年7月9日	浜松乳児院主催 治癒的遊び研修会	浜松乳児院	1名
平成26年7月22日	静岡県乳児院協議会 養育研修会	静岡乳児院	4名
平成26年9月10日	浜松乳児院主催 治癒的遊び研修会	浜松乳児院	1名
平成26年9月17日	静岡県乳児院協議会 看護研修会	静岡恵明学園	2名
平成26年11月15日	浜松乳児院主催 治癒的遊び研修会	浜松乳児院	1名
平成26年11月16日	児童虐待防止静岡のつどい	もくせい会館	2名
平成26年11月19日	県乳協 家庭支援専門相談員研修会	浜松乳児院	1名
平成27年1月23日	静岡県乳児院協議会 事務研修会	みどり園	2名
平成27年2月18日	静岡県乳児院協議会 代表者会議	浜松乳児院	1名

(3) 静岡県社会福祉協議会等の県内研修会

①研修会 参加人数 14名 (10回)

年 月 日	研 修 会 テーマ等	場 所	参加人数
平成26年4月14日	静岡県社会福祉協議会・経営者協議会主催 社会福祉法人監事監査研修会	グランシップ	1名
平成26年5月22日	給食協会富士支部総会・講演会	ロゼシアター	1名
平成26年6月10日	給食協会富士支部 衛生講習会	ラ・ホール富士	1名
平成26年6月13日	社会福祉施設職員等防災研修会	県地震防災センター	1名
6月23日～24日	県社協主催 平成26年度新任研修会	静岡県総合福祉会館	2名
平成26年7月27日	子ども虐待対応・医学診断研修会	静岡県医師会館	3名
平成26年8月6日	県社協主催 経理事務応用講座	静岡県総合福祉会館	1名
平成26年9月30日	県養協主催 事務職員部会研修会	静岡県総合福祉会館	1名
平成27年1月23日	静岡県給食協会富士支部50周年記念式典記念講演会	ロゼシアター	1名

(4) 法人内研修会・園独自研修会等

①法人研修会等 15名 (4回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参 加 人 数
平成26年4月8日	法人 新規採用職員研修会	みぎわ園地域交流室	7名
平成26年10月20日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	3名
平成26年11月17日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	3名
平成26年12月11日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	2名

②みどり園独自研修会等 151名 (18回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参 加 人 数
平成26年4月1日	新任職員研修会 「乳児院について」	会議室	7名
平成26年4月24日	新任職員研修会 「勤務内容の確認」	会議室	8名
平成26年6月1日	県モデル事業山崎知克医師 ビデオカンファレンス①	会議室	12名
平成26年6月26日	新任職員研修会「福祉とは・芙蓉会の歴史」	会議室	7名
平成26年6月27日	山崎知克医師 ビデオカンファレンス欠席者勉強会	2階プレイルーム	7名
平成26年7月25日	みどり園 118救急救命講習会	会議室	7名
平成26年8月2日	県モデル事業山崎知克医師 ビデオカンファレンス②	会議室	11名
平成26年9月1日	新任職員研修会「防災/避難体制」	園庭	7名
平成26年9月1日	より良い関わりのための勉強会 (1)	乳児室	12名
平成26年9月2日	より良い関わりのための勉強会 (2)	乳児室	9名
平成26年9月19日	大野木嗣子先生DVD勉強会「乳児と遊び」	2階プレイルーム	5名
平成26年10月26日	山崎知克医師 ビデオカンファレンス欠席者勉強会 ②	2階プレイルーム	6名
平成26年11月23日	県モデル事業山崎知克医師 ビデオカンファレンス③	会議室	14名
平成26年12月16日	先駆的施設視察研修1班「日赤乳児院」	日本赤十字医療センター付属乳児院	6名
平成27年1月18日	県モデル事業山崎知克医師 ビデオカンファレンス④	会議室	12名
平成27年1月22日	新任職員研修会「勤務内容のまとめ」	会議室	9名
平成27年1月27日	先駆的施設視察研修2班「日赤乳児院」	日本赤十字医療センター付属乳児院	6名
平成27年2月20日	先駆的施設視察研修2班「日赤乳児院」	日本赤十字医療センター付属乳児院	6名

山崎知克医師の診察とビデオカンファレンス



法人普通救急救命講習会



資料 8 平成26年度 実習生受け入れ状況

(1) 単位取得実習 (8校 14名 延べ 158日)

学 校 名	人 員	指定日数	実 習 期 間	延日数
和泉短期大学	2名	12日	5月12日 ～ 5月31日	24日
静岡県立短期大学	2名	11日	6月2日 ～ 6月14日	22日
鎌倉女子大学	2名	11日	8月8日 ～ 8月19日	22日
常葉大学富士キャンパス	2名	11日	8月20日 ～ 8月31日	22日
浜松学院大学	2名	12日	9月1日 ～ 9月14日	24日
浜松学院大学	1名	12日	9月15日 ～ 9月27日	12日
常葉短期大学	2名	11日	10月16日 ～ 9月29日	22日
ヒューマンアカデミー	1名	10日	11月25日 ～ 12月5日	10日
合 計	14名			158日

(2) その他の実習及び育児指導

1. 家庭引き取り対応指導 年間延べ 178件 (面会・外出・外泊対応等)
2. 里親委託養育指導等 年間延べ 27件
3. 里親研修 0件
4. 教員体験実習 0件

資料 9 ボランティア受け入れ実績

(1) ボランティア受け入れ実績 総数 164名 (3団体+個人3名)

1. 虐待予防センター 6回 12名
2. 吉原第二中学校ボランティア 21回 66名
3. 富士常葉大学 (田口ゼミ) 27回 82名
4. その他のボランティア 4回 4名

資料 10 家庭支援事業について

(1) 入所・一時保護児の家庭復帰に対する支援

保護者や委託予定の里親に対して、適切な親子関係を構築できるよう面会、電話等で支援を行いました。また、措置機関である児童相談所（処遇の決定やこどもを受け入れる環境を整えるために親族や地域の調整を図る）、福祉事務所、保健センター等の関係機関と緊密に連携し、家庭復帰や、里親委託をすすめました。

個別に対応した件数 659 件

（内訳）保護者・里親の面会等個別対応	： 470 件
医療・療育機関と調整	： 19 件
他施設への移行準備、施設訪問等	： 65 件
児童相談所・関係機関との調整	： 105 件

(2) 退所後の支援

退所後、家族や地域の中で孤立することなく健全な生活ができるよう関係機関と連絡や調整を図りました。

個別に対応した件数 10 件

（内訳）保護者・里親の電話相談・病院付添等	： 8 件
児童相談所等への連絡調整	： 2 件

(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）について

富士市と沼津市との委託契約により、保護者の一時的な疾病やその他の理由によって養育できない児童を一時的に預かる事業を実施しました。依頼があった時に、受け入れや引き取りについて連絡調整や直接接遇を行いました。

連絡調整及び相談件数 50 件

※ショートステイ受け入れ件数 富士市：9名 34日（母親1名3日を含む）

(4) 里親への対応 54件

（内訳）委託前引継ぎ・相談	： 45 件
病院への引き継ぎ等	： 9 件

(5) 電話による育児相談 15件（赤ちゃん110番等）

赤ちゃん110番等、一般家庭からの電話による育児相談に対応しました。

（内訳）育児に関する相談	： 7 件	（授乳・夜泣き等）
疾病に関する相談	： 8 件	（子どもの疾病を疑う相談等）
その他の相談	： 0 件	（一般からの入所相談等）

資料1 1 平成26年度改修・修繕工事等報告

(1) 施設整備取替・補修等工事報告

実 施 内 容	金 額
食堂扉改修工事	91,800円
非常灯・照明器具取替工事(建物検査改善工事)	97,200円
業務用大型洗濯機修理	62,067円
応接室床改修・床暖工事	731,160円
1階トイレパーテーション・扉改修工事	788,400円
2階トイレパーテーション・扉改修工事	948,240円
給排水逆止弁・側溝蓋交換工事	137,700円
1階居室建具・柵改修工事	206,280円
リネン室床張替改修工事	861,840円
1.2階通路・浴室ドア取替改修工事	698,760円
2階トイレリモデル工事	579,960円
お風呂場・乳児室電気改修工事	51,840円
処遇書類・道具棚・ロッカー改修工事	598,320円
事務室書庫改修工事(前期)	937,440円
事務室書庫改修工事(後期)	615,600円
給水工事貯水タンク架台交換改修工事	248,400円

※ 1万円以上記載。

(2) 購入物品報告(10万円以上)

購入物品	数量	設置及び使用場所(使用者等)
トリムイオン整水器	1	厨房
避難車兼おさんぽカー	1	園内外・外出用

(3) 購入物品報告(10万円未満)

購入物品	数量	設置及び使用場所（使用者等）
吸引器	3	居室・観察室・診察室等
ポータブル吸引器	1	園内外
加湿器	9	園内全域
デジタルカメラ	1	行事用
サンシェード	3	プレイルーム・厨房・食堂
チャイルドシート	4	公用車2台
フロアーマット	4	居室・プレイルーム
ベビータンス	1	オムツ交換室
乳母車	1	園内外・外出用

資料 12 施設運営改善等

(1) 苦情・要望受付

・処遇、運営に関する苦情 0 件

(2) 人事考課実施

人事考課を実施し、結果について職員への個別面接を実施し、平成 26 年度の職員の給与へ反映させました。

(3) 自己評価

平成 26 年度は毎月 1 回、自己評価委員会を開催し、みどり園の現状を評価項目と照らし合わせた自己評価を実施し、平成 25 年度との比較や、中長期計画の進捗状況を確認・修正を行い、改善に向けて新たな中長期計画を作成しました。

自己評価委員会：毎月 1 回 年 12 回実施

特別養護老人ホームみぎわ園

事業概要報告

平成 26 年度は、8%消費税に始まる介護保険事業収支に於いて費用関係の影響を、入居系各事業の稼働率、特に特養、ショートステイ、認知デイサービス部門での実績は評価できる所であった。介護事業過当競争が激しい通所介護、居宅事業所においては人事異動がありながらも努力しながら、この吸収を多少回避するに至る経営状況であったと思われます。



完成したみぎわの里正面

本年度は、看護小規模多機能型居宅介護みぎわの里の開設に向けての建設補助金申請、事業運営計画等に追われた年度であり、建設については匠達の叡智により意に合った木造平屋建ての施設として 12 月完成し、富士市地域密着型施設サービスとして市の老人福祉整備計画の一役を担う事ができました。次の時代、地域と共にある介護福祉サービス施設として大きく期待する所であります。介護現場においては、例年になく入退居者が落ち着いた年度であり、退所者については 9 割が看取り介護（ターミナルケア）の中でお送りをし、特養サービス介護での方向が定まってきた感があります。

エネルギー削減計画の一つとして、天然ガス（LNG ガス）への切替えとボイラー設備更新を進め安全管理が達成できました。人材育成については、新人教育（プリセプターマネージメント）に向けた教育担当制での 1 年を掛け介護現場での実践、自立、技術認定制度の中の認知症実践者研修認定者、喀たん吸引等 2 号研修受講資格者等、これからの時代を担う有資格認定者の充実を図りました。

実施報告

基本目標 1

1.みぎわの里、及び LSA(富士市委託事業)駿河台団地シルバーハウジン 介護援助員派遣事業の推進に向けて

- ・みぎわの里建設に関しては、6 月着工 12 月竣工をみて富士市地域密着型施設サービスとして H27 年 2 月に開所しました。

総工費：146,883,000 円

- ・駿河台団地シルバーハウジング世帯 28 軒（30 名）の住民に対し、日々の支援をきめ細やかに進めています。

LSA 事業補助事業費 年 額： 2,847,621 円

2.ケアシステムの構築と包括支援センター事業での実行に向けて

- ・地域ケアの柱を担う包括支援センターとして、主に介護予防に向けた事業実施と何でも相談的な地域老人福祉支援、地域弱者等の支援に向け、吉原、今泉、伝法とした高齢化率の高い3地域での事業実施を進め、これからも多忙を極めています。

富士市委託事業費 年 額： 29,768,000 円

3.感染予防に向けて

- ・残念ながら12月年末に、外部から持ちこまれたインフルエンザウイルスによる入居者流感があり、累積で職員10名を含めた23名のインフルエンザの発症を来たしてしまいました。今後において更なる、感染予防に向けた対応を時季を図りながら管理していきます。

基本目標 2

1.エネルギー対策とボイラー設備の更新の実施

プロパンガス（LPG）より天然ガス（LNG）への転換を4月より構内埋設配管、ボイラー設備を外部設置に切り替え、6月施設より供給を始めました。特に厨房ガス設備については、厨房内湿度の低下を見た環境整備と外部ボイラー設置設備による安全確保ができました。

経費的には、円安の輸入高の影響もあり当初予想をクリアする所までは至っていません。

建物新規配管費用	1,251,000 円
ボイラー設備費用	2,920,000 円



更新ボイラー設備

2.PBX（電話交換機及びナースコール）の更新に向けて

一昨年ひまわり園電話交換機（PBX）システムの更新を実施し法人内通話の無料化が図られ、相応してこの実施を計画しましたが、ナースコールシステムの更新も連動を図る事から、経費面で「みぎわの里建設を先行する」とした中で詰めるに至らず、H27 年度に延期をしました。

3.介護車両の増設整備と充足に向けて

必要とする福祉車両の配備は、軽車両での入替に終わり普通車両の配備については、延期として H27 年度に順延しました。

軽車両（中古）配備費用 265,800 円（ふようデイサービス）
473,000 円（給食配膳用）
289,000 円（ショートステイ）



福祉軽車両



デイ配備軽車両

部門：介護部門

基本目標報告

1.県社協主催を中心とした外部研修の参加、併せて施設内研修・伝達講習の充実を図る。

外部研修、伝達研修、施設内研修と職員の適正又希望を取り入れ、発展的に繰り返し講習を進めるとした流れで実施しました。リスクマネジメント、レクリエーション手法、コミュニケーション技法、リーダーの役割等充実したものとなりつつあります。特にユマニチュード（認知症ケア対応技術）では、各ユニットに DVD を配布し、フランスではじまった一つの認知症ケアスキルを職員間で共有することができ、研修を通して職員の意識改革と自信に繋がっています。

2.採用職員の施設内「新任職員研修」の実施

H26 年度は、新任職員（16 名）を各職域の担当者により研修を実施し、不安や心配がある中で、今後の夢や期待、そしてやる気を引き

出し、自信の回復にも繋げながら研修を実施しました。次にフォローアップを兼ね、期間において研修も考えていく必要があると考えています。

3.プリセプターシップの定義・取組みを理解し、指導体制を確立する。

各部署に配属された学卒新人5名を一年間の担当指導制の中で、キャリアパス（業務遂行達成基準）を基本に評価を実施し、連絡会を通して情報交換、指導内容の確認等を行い、指導する上で担当者の様々な思いや反省、気づき等、新人と向き合う事により、共に成長が出来た1年であり継続した指導体制を実施していきます。

4.各種介護業務上のマニュアルを整備し、作業手順、業務実務検索、方法等を明確にする。

マニュアル整備と職員一人ひとりとの連携の差異があり継続した指導の下、QOL委員会等を通して、伝達方法を考え理解を深めていく必要性を感じている現状です。

5.退所、長期入院による空床期間の短縮化を図り、稼働率のアップを目指す。

他職種連携で稼働率99%の達成できました。入所について、自宅からの方は短期間での入所対応ができましたが、老健等他施設からは時間がかかってしまったケースもあり、適切な連携を図る事で今後でも対処していきます。

6.ご利用者のご家族との関係を保ち、継続して行くことでご利用者の精神面での安定を図り、ご家族との連帯感を図り、施設行事への積極的参加を呼びかける。

平成26年度は面会者数も延べ6,600名余りとご利用者、職員共にも有難い事だと感じています。この事が各種相談など、ご家族を交えて多職種で検討する機会も定着し、ご家族への「報・連・相」も徹底できています。何よりも大きな行事、とりわけ敬老会行事の出席が年々増え、昨年は88名の方の出席があり、とても嬉しく思い感謝しています。

部門：看護管理

基本目標

ご利用者や入所者の状態変化を医師に正確に情報提供し、ご家族へも随時報告することで、信頼関係を築くことができました。

1. ご家族とのコミュニケーションを大切し、介護職と連携を図り、その人らしく終焉を送ることができるように関わることができました。

2. 感染対策伝達講習会の定期実施は定着してきました。職員とご利用者の予防接種も行いましたが、暮れから正月にかけご利用者 13 名、職員 10 名インフルエンザに罹患したため、塩素消毒器による除菌・職員の健康チェック・面会制限し防疫体制の強化を図り、それ以上の罹患はなく終息しました。

3. QOL 委員会にて褥瘡のあるご利用者の情報を介護職と共有し、またケアに対しても日々の業務の中で検討、理解し連携を図りました。



中央公園のばら鑑賞会



秋季運動会応援合戦



敬老会での職員演舞

部門：1 F 北ユニット（するが・さがみ）

基本目標

1. 担当の入所者に近づき、正確なニーズを把握しその方の生活に責任を持つ。
 - ・入所者の生活の様子を見て、生活のニーズを探る事ができ、ご利用者と関わる時間を増やす事ができるようになってきました。ただ、それぞれの気持ちに寄り添って、そのニーズを把握する所まではできませんでした。
2. ご家族との関係を密にし、入所者の事を一緒に考えて頂けるよう、はたらきかける。
 - ・ご家族と話す事が苦手だった職員も、積極的に会話する事ができるようになり、担当者会議へのご家族の参加も増え、共にご利用者の暮らしを考える事ができるようになってきました。
3. 目標と楽しみのある生活を提供する。
 - ・運動会やクリスマス会で、ユニット毎の出し物参加があったため、それを目標に入所者と職員が共に励む事ができました。

部門：1 F 南ユニット（いせ・みかわ）

基本目標

ユニット間での行事が多くなる中で、まだ一人ひとりに対する個別ケアが十分でないと感じています。業務に追われる事なく、ゆったりとした環境作りを心掛けたいと思います。

1. 三大レクリエーションを含め、少しずつご家族が足を運びやすい場が増えてきたと思われ、レクにもご家族が参加できるよう声掛けしてきました。
2. 報・連・相がスムーズになってきた様に思われます。職員間等で情報の共有をし、問題が改善されるように継続していきます。
3. インフルエンザの早期発見ができず、入所者に広まってしまいましたが、その後の対応はナースを中心にしっかりできました。
4. ご家族の面会時に状態の報告はできてきたと思いますが、入所者の昔の情報があまり聞けず、今後は情報を聞けるよう声掛けしていきたい。
5. 食べる事が楽しみにしている方が多く、外食のレクなどを増やして行くようにします。

部門：2 F ユニット（くすのき・もくせい）

基本目標

1. 日常レクを毎日の楽しみとしていただけるよう、マンネリ化しない内容で実施する。

ほぼ毎日行うことができましたが、同じレクリエーションが続いてしまうこともあり、来年度への反省点とします。

2. 報告・連絡・相談を確実に実施する。

申し送りノートや口頭で職員全員に伝わるようにしましたが、忘れる事もありましたので確実に全員が同じ情報を共有できるようにする。チームワーク、チームケアの強化については、職員が一丸となって協力し合い一年間できました。

3. 折り紙で季節感のある作品を作り、四季を感じていただく。

絵馬やこいのぼりなど、四季に合わせた飾り物を作り、入所者に喜んでもらえました。

4. ターミナルケアの入所者、又はご家族に対しては、マニュアルに沿ってチームで心をこめた介護及び支援を実践する。

ターミナル時にどのようにケアしていきたいかを話し合い、皆がそれに向かって一つになれば、ターミナル後の反省会もしっかりできました。それを含め、今後はご家族に対するケアが行えるよう勉強していきたい。

5.ユニット内行事を月に 1 回継続して行っていく。

毎月行事担当者を決め、外出やユニット内で駄菓子屋やお月見など、入所者と一緒になり職員も楽しく、担当者も責任を持って行えました。今年度はプチレクリエーションも多くできました。

6.ご家族を巻き込んだ行事やケアを行う。

ご家族の方がミニコンサートを開催して戴くことができましたが、外出時にご家族の参加が出来なかったことが今後の検討課題です。

7.ゼロを目指す。(確認の徹底)

誤薬ゼロは達成できましたが、配薬後もう一度薬箱の確認を徹底し、薬箱に飲み忘れがないように確認をしていきます。

部門：3Fユニット（あまぎ・あしたか）

基本目標

1.報告、連絡、相談を徹底する。

報告や連絡では、新人、パート職員への指導不足によりできていなかった所があり、より明確にわかりやすく伝え、しっかりとした指導と連携がとれるようにしたいと思います。相談は、皆で話し合いし、解決に結びついていきました。

2.意思疎通の困難な方を外へ連れて行く事やちょっとした日光浴など、充実した外出とは言えませんが、実行する事ができました。今後もより充実できるよう努力したいです。

3. 忙しさや人手不足を理由に、変化の少ない生活になってしまい、そこに暮らしがある事をもう一度考え直し、楽しく充実した生活ができるよう支援していきたいと思います。

4. 誤薬 0 を目指しましたが、今年度は誤薬のミスが多くありました。今後も継続して配薬準備及び確認の徹底をし、職員が薬に対しての意識をしっかり持ち、同じ過ちを繰り返さないようにしていきたいと思います。

部門：ショートステイ みぎわ園

基本目標

1.ご利用者の水分補給をしっかり行い、看護との連携を執りながら個々の体調管理を行います。

今年度からおやつの時間にお茶やスポーツドリンクだけではなく何種類かの飲み物を用意し好きな物を選んで戴き、楽しい水分摂取が提

供でしたが、ベッド就寝時へのサポートができてなく、今後の検討を必要とします。体調管理については、看護との連携でできましたが、さらにご利用者に対する思いを共有し連携を強化し個々の体調管理が行えるよう努めます。

2.配薬方法を三重チェックし、誤薬ゼロを目指します。

第一段階で看護による配薬、第二、第三段階で職員による二重チェックを行い、誤薬防止に努めましたが、食前薬の服用忘れやご利用者を間違えての誤薬がありました。ご利用者の名前と顔の確認、投薬時間の徹底等、職員同士で声かけを行い誤薬防止に努めます。

3.利用時の手指消毒を徹底するなど感染防止対策を確実にを行い、快適な環境整備に努めます。

毎食前にアルコールにてテーブルを拭き、全員の手指消毒を徹底継続していきます。感染症対策について、今後それぞれに負担の少ない方法で園内でのマニュアル化が出来ればと考えています。

4.レクリエーション・行事の充実を図ります。

園内での運動会、夏祭り、昔祭り、クリスマス会等、独自レクでのお花見、バーベキュー、流しそうめん、富士まつり見物、敬老会、外食、買物等多くのご利用者に喜んで頂く事ができました。

5.ご利用者や家族に対し、気持ち良い挨拶をする。

家族送迎の方々など園への来客に対し、明るく笑顔で挨拶する事ができました。

6.稼働率90%を目指します。

年平均利用者数 19 人、平均稼働率 96%で 90%以上を職員の協力と多くの調整と連携の成果として達成できました。今後もリピーターを増やし 90%以上を維持できるよう努めます。



運動会応援合戦



敬老会：老施協職員永年勤続表彰



西湖「癒しの里」ハイキング

部門：デイサービスセンターみぎわ園

基本目標

平成 26 年度はご利用者に寄り添った生活支援を行う事を重視し、ご家族にも笑顔で過ごして頂けるよう努力しました。具体的には定期的にアンケートをとり要望を聞き取りながら、外出の機会を持ち季節を感じて頂いたり、また屋外で運動する事により運動機能低下及び近隣の方々とも交流を図る事ができました。

レクリエーション活動の中で、今まで以上に手作業を行う作品のできる喜び、季節行事の充実、個別での機能訓練の充実を図りました。

稼働率については、前年以上に上げる事ができませんでしたが、地道程度の成果として付き合いの少なかった居宅事業所ケアマネジャーからもご利用者の紹介を頂く事ができるようになりました。



春のレクリエーション



七夕飾り「思いを込めて」



田貫湖 秋の漫遊会



ベランダ菜園作り



お正月ゲーム大会



楽しい外食会「いっぱい食べました」

部門：ふようデイサービスセンター

基本目標

26 年度は、新しい時代に向け職員一人ひとりの発案を大切に、行事や業務に反映し取り組んできました。4月の消費税増税それに伴う基本単価の増加、他事業所の増加等の事情から収益は前年度に及びませんでした。今後においてサービス向上プロジェクトの立ち上げ、更なるサービスのクオリティーの向上に努めていきたいと思ひます。

1. 稼働率 76・0% 平均利用人数 22.8 名でした
2. 外出困難者に対して個別対応での送迎を実施する事ができました。
3. 野外レクリエーションに対し機能訓練を取り入れる事ができました。
4. 充実した季節行事を企画発案し月一度、大きな行事を実行する事ができました。



ボランティアの方々との交流（踊りに参加して）



干し柿づくり



納涼会：流しそうめん



運動会応援団



クリスマス会



ひな祭り会

部門：ふよう居宅介護支援事業所

基本目標

事業所管理者の法人内異動及び職員の退職に伴う担当ケースの引き継ぎなどから、落ち着かない一年でありました。担当ケース引き継ぎに関しては十分ではありませんが、ご利用者やご家族に対して十分に説明を行い、理解及び承諾が得られたと考えています。また新担当ケアマネジャーもご利用者やご家族との信頼関係が一日でも早く構築できる様、日々励んでいる状況です。

実施目標

平均担当件数 33 件・自社事業所プラン 82%以上を目標に対して、年度末現在で平均担当件数 26 件・自社プラン 70%と目標には遠く及ばない結果でした。介護件数は死亡や施設入所等により減少し補填する事ができませんでしたが、予防件数に関しては吉原西部地域包括支援センターからの委託件数増により増えました。

《研修等における自己研鑽について》

定期的な事業所内研修や吉原西部包括支援センター主催による勉強会や事例検討会への参加は行ってきましたが、県主催研修への参加が昨年よりも少なかったです。次年度においては主任介護支援専門員研修や自己研鑽に繋がる県主催研修への参加を計画し、各ケアマネジャーがスキルアップを図ります。

《介護保険法改訂について》

平成 27 年は 3 年に 1 度の介護保険法改訂となり、居宅介護支援においても認知症加算及び独居高齢者加算が廃止となりました。「特定事業所加算Ⅱ」についても算定要件が厳しくなり、事業所内における事例検討等の研修が週 1 回必須要件となりますが職員の協力を得ながら対応していく所存です。

部門：吉原西部地域包括支援センター

基本目標

活動エリアの居宅介護支援事業所、サービス提供事業所をはじめ医療機関、地域の民生児童委員協議会、地域福祉推進委員会等の各関係機関等との連携を強化すべく以下の事業を推進してまいりました。

1. 総合相談事業について、ワンストップサービスを徹底し対応致しまし

た。また、目標であった移動相談窓口の開拓や、新たなインフォーマルサービスの発掘にも着手しました。相談件数としては 461 件の相談に対応しました。

2. 介護予防ケアマネジメント事業について、委託事業である二次予防事業に対しても、利用者の確保の為、電話での勧誘その後のアセスメント及び評価までの過程を確実に行いました。

(※別紙資料 2 参照)

3. 権利擁護事業について、虐待ケースに対して早期対応し、解決に向け取り組みました。権利擁護相談(成年後見・消費者被害含)として 24 件。虐待相談として 11 件の相談に対応しました。

4. 包括的継続的ケアマネジメント事業について、医療機関・警察・民生委員・介護保険事業所等とケースについて連携を行い活動しました。

5. 認知症サポーター養成講座について、年間 7 回開催し、計 338 名のサポーター養成を行いました。

6. 地域ケア会議を吉原・今泉・伝法地区で、3 回に分けシリーズで行っている『災害にあっても何とかしたい！何とかしよう！！何とかなる！！！地域づくりを目指して』と題して、民生委員・福祉推進会・社会福祉協議会・居宅介護支援事業所と協力し開催しました。

資料 1：介護予防給付実績状況

平成 26 年度 介護予防給付ケース表		包 括
直 営	要支援 1	253 件
	要支援 2	386 件
	小 計	639 件
委 託	要支援 1	576 件
	要支援 2	1,449 件
	小 計	2,025 件
合 計		2,664 件

資料 2 : 一次予防事業・二次予防事業実施状況

事業名	教室名	回 数	参加者総数
一次予防事業	脳健康教室（1 教室 10 回）	1 回	133 名
	介護予防教室（1 教室 3 回）	5 回	172 名
	脳いきいき教室（1 教室 3 回）	3 回	79 名
二次予防事業	転ばん教室（1 教室 12 回）	4 回	66 名
	歯つらつ教室（1 教室 6 回）	1 回	16 名

【吉原西部エリア 地域ケア会議の様子】



今泉地区の様子



吉原地区の様子



伝法地区の様子

部門：みぎわの里（看護小規模多機能型居宅介護）

基本目標

2 月開所に向けて年明けからの受け入れ準備にかかり、特に初めての経験での看護付き多機能施設の運用での様々を組上げながらスタートをしています。開所当時の登録利用者として 7 名、3 月末で 11 名とのんびりとしたスタートではありますが、確実に医療を必要とする在宅介護受給者の利用が地域との協力、連携の下で期待されています。

【みぎわの里 建設完成記録】



みぎわの里 全景



正面玄関



パブリックスペース



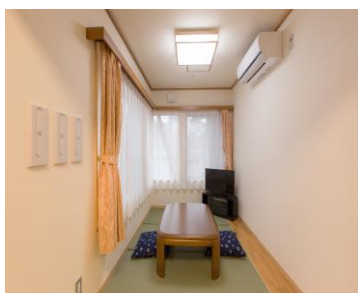
特殊浴槽



個浴槽



居室



静養室（和室）



配膳室（パントリー）



資料 1 H26 年度面会者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総 数
面会者	508	503	496	505	760	568	563	623	607	322	691	491	6,637 名

※ 12月末より1月にかけてインフルエンザの流行により面会を制限しました。

資料 2 特養入退所数・平均年齢介護度・認知度

施設利用者の状況（H27. 3月末）

		特 養	ショートステイ	デイサービスみぎわ園	ふようデイサービス	居宅支援事業所
平均年齢	男	86.4	85.7	82.3	86.5	84.2
	女	83.7	81.8	79.6	81.3	82.4
	平均	85.1	83.8	81.0	83.9	83.3
平均介護度	男	3.63	2.75	3.56	2.22	1.98
	女	3.47	2.64	3.43	2.23	1.86
	平均	3.6	2.7	3.5	2.2	1.9

資料 3 特養平均在園月数

男性：41.4 ヶ月	女性：40.4 ヶ月	平均：40.9 ヶ月（3.4 年）
------------	------------	-------------------

資料 4 特養入退居件数

単位 人/月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	1	2	1	1	4	1	2	2	2	0	1	1	18
退所者	1	2	1	1	4	1	2	2	2	0	1	1	18

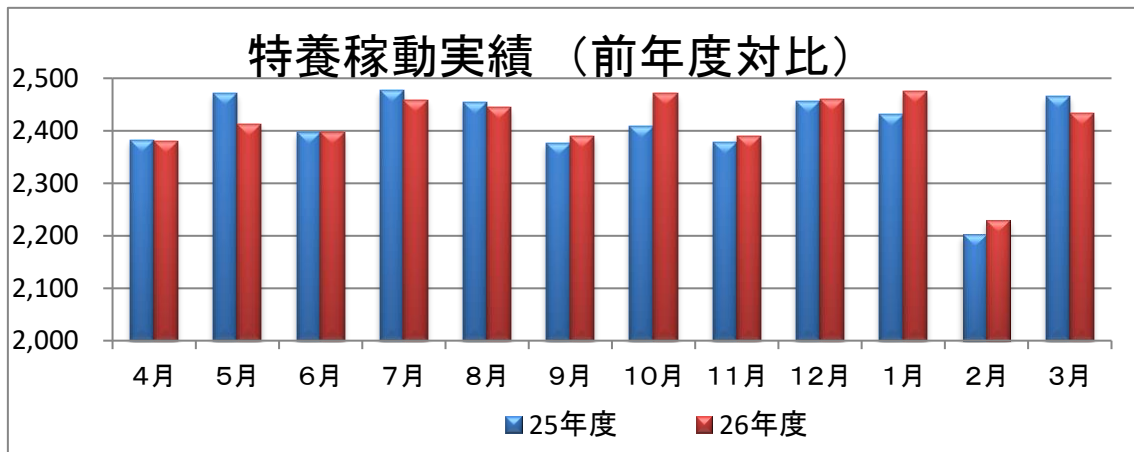
資料5 平成26年度 外来受診一覧表

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
青葉クリニック	17	23	26	17	28	22	16	19	6	13	10	22	219
富士中央病院内科		1											1
整形外科								2			1		3
泌尿器科	2	1	2	1		2		1	1		1		11
救急外来		1			1		1				1	3	7
婦人科				1				1				1	3
循環器科		1	2						1				4
眼科		1						1					2
外科				1	2								3
皮膚科												1	1
聖隷富士病院内科													0
眼科		3	1	1	1	1		1	1			1	10
富士いきいき病院					2	1							3
上田クリニック			2			1							3
中島眼科	1												1
鈴木整形外科							1						1
月岡医院			1	1	1	1	1				1		6
救急医療センター				1		1						1	3
鷹岡病院	1	1	1		1							1	5
脳研			1	1			1					1	4
池辺クリニック	2	2	2	2	3	1	2	2	2	2	2	2	24
横割皮膚科クリ	3			4	2	3	2			2	2		18
前田整形外科	2			1		1		1					5
受診合計	28	34	38	31	41	34	24	28	11	17	18	33	337

資料 6 各事業稼働率前年度対比表

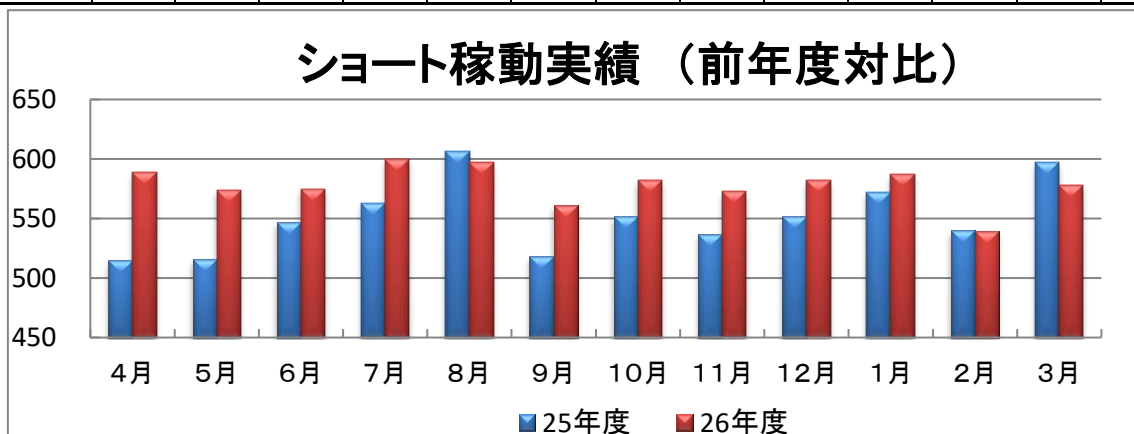
1. 特別養護老人ホームみぎわ園

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
25 年度	2,382	2,471	2,397	2,477	2,454	2,376	2,409	2,378	2,457	2,431	2,202	2,465	28,899
26 年度	2,380	2,413	2,397	2,459	2,444	2,390	2,471	2,390	2,460	2,475	2,229	2,433	28,941
26-25	- 2	-58	0	-18	-10	1 4	6 2	1 2	3	4 4	2 7	-32	4 2
稼働率	99.2%	97.3%	99.9%	99.2%	98.5%	99.6%	99.6%	99.6%	99.2%	99.8%	99.5%	98.1%	99.1%



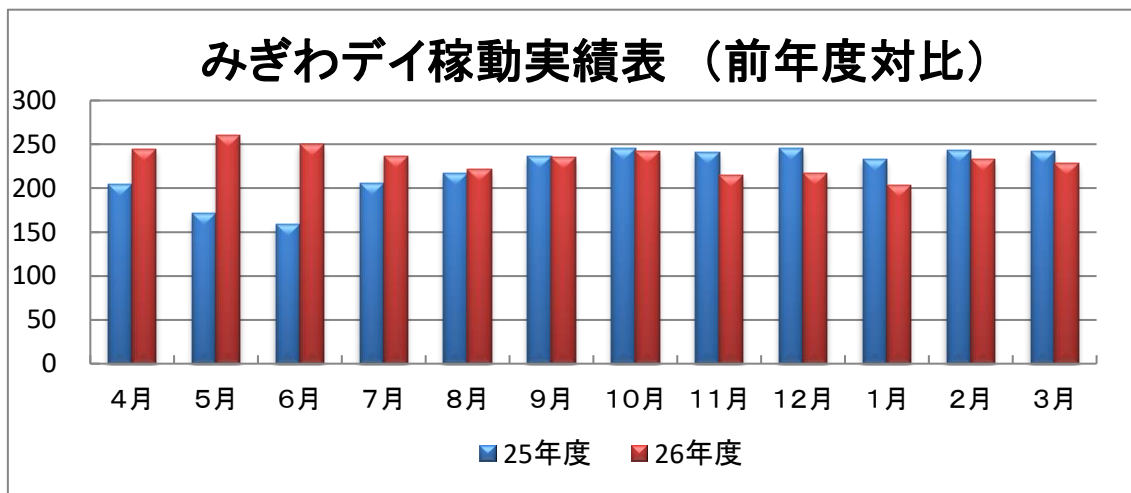
2. ショートスティみぎわ園

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
25 年度	515	516	547	563	606	518	552	537	552	572	540	597	6,615
26 年度	589	574	575	600	597	561	582	573	582	587	539	578	6,937
26-25	7 4	5 8	2 8	3 7	- 9	4 3	3 0	3 6	3 0	1 5	- 1	-19	3 2 2
稼働率	98%	93%	96%	97%	96%	94%	94%	96%	94%	95%	96%	93%	95.0%



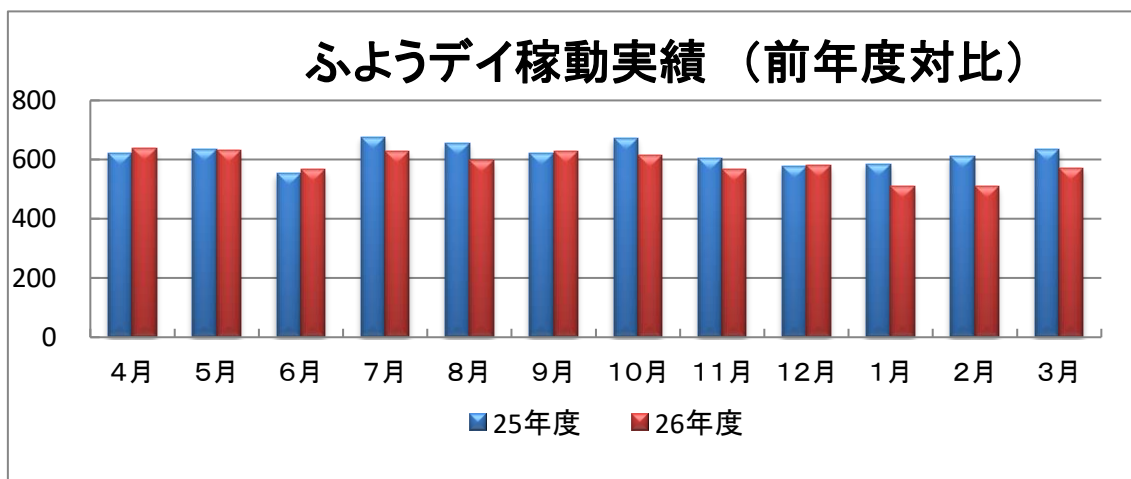
3. デイサービスセンターみぎわ園

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25年度	204	172	159	206	217	236	246	241	246	233	243	242	2,645
26年度	245	260	250	237	221	235	242	215	217	203	233	229	2,787
26-25	41	88	91	31	4	-1	-4	-26	-29	-30	-10	-13	142
稼働率	95%	100%	97%	77%	72%	76%	78%	70%	70%	66%	75%	74%	75.2%



4. ふようデイサービスセンター

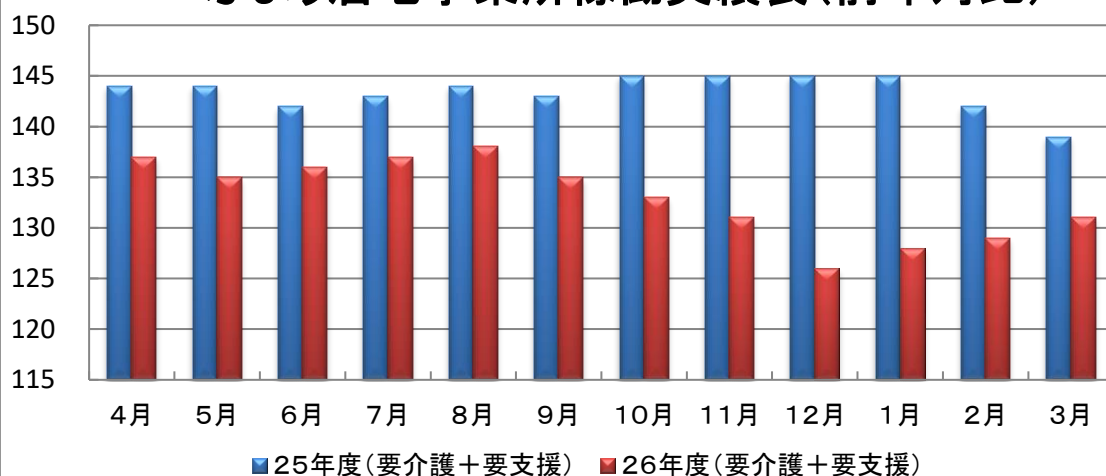
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25年度	622	633	553	676	654	622	673	603	577	585	610	634	7442
26年度	637	631	566	629	599	628	616	568	579	510	510	572	7045
26-25	15	-2	13	-47	-55	6	-57	-35	2	-75	-100	-62	-397
稼働率	84%	83%	75%	81%	77%	81%	80%	73%	75%	66%	66%	74%	76.0%



5. ふよう居宅支援事業所

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25年度	144	144	142	143	144	143	145	145	145	145	142	139	1,721
26年度	137	135	136	137	138	135	133	131	126	128	129	131	1,596
内訳(要介護)	114	109	109	112	114	110	107	105	102	104	104	103	1,293
内訳(要支援)	23	26	27	25	24	25	26	26	24	24	25	28	303
26-25	-7	-9	-6	-6	-6	-8	-12	-14	-19	-17	-13	-8	-10.4

ふよう居宅事業所稼働実績表(前年対比)



資料7 実習生受入、体験学習状況

学校名	学年	期 間	日数	人数
静岡県立富士宮東高等学校	3年	平成26年5月7日～5月23日	12日	3名
	3年	平成26年7月14日～7月28日	10日	3名
	3年	平成26年9月30日～10月17日	12日	3名
静岡福祉医療専門学校	2年	平成26年6月23日～7月25日	25日	1名
	2年	平成26年10月27日～11月21日	20日	4名
	1年	平成27年1月19日～1月31日	10日	4名
富士市立岩松中学校	1年	平成27年11月20日	1日	10名
日本大学国際関係学部	4年	平成26年8月4日～8月8日	5日	1名

資料8 職員研修状況報告

1.特養部門 参加人数 167 名

年月日	タイトル	主宰	研修先	職種	人数
H26. 5. 31	私達の老後・27年度介護保険はどう変わるか	介護福祉士会	静岡市	相談員・介護	5
H26. 6. 1	メディカルサポートセミナーin 静岡	株式会社モルテン	静岡市	特養看護	1
H25. 6. 9	認知症の人の為のレクリエーション	福祉人材センター	静岡市	介護	1
H25. 6. 10	H26 年度・栄養管理講習会	給食協会富士支部	富士市	管理栄養士	1
H26. 6. 12	病中、病後の食事対応、食意の無い方への対応	圏域栄養士会	富士市	管理栄養士	1
H26. 6. 14	介護技術研修	介護福祉士会	静岡市	介護	4
H26. 6. 20 H26. 6. 21	フィジカルアセスメントとは・意義	聖路加国際大学	東京都	特養看護	1
H26. 6. 24	新任職員研修 I	静岡県社協	静岡市	介護	2
H26. 6. 25	優しさの技術「ユマニチュード」	鷹岡病院	富士市	多職種	63
H26. 6. 30	リスクマネジメント・誤嚥事故防止の具体策	静岡県社協	静岡市	介護・相談員	2
H26. 7. 10	コミュニケーション技法を学ぶ	静岡県社協	静岡市	特養介護	2
H26. 7. 26 H26. 11. 8	介護従事者初任者研修（全4回）	富士市社協	富士市	介護	5
H26. 8. 1 H27. 1. 22	訪問介護研修 ステップⅠ（全4回）	看護協会	静岡市	特養看護	1
H26. 8. 3	グランシップ音楽の広場 2014in Fuji	グランシップ	富士市	多職種	7
H26. 8. 5	複合型ナースینگケア施設「もも」の見学		静岡市	介護、看護	4
H26. 8. 12	実践的な経理実務研修	会計士・杉山明喜	静岡市	事務	1
H26. 8. 18	介護職員喀痰の吸引等研修（第2号研修）		沼津市	特養介護	1
H26. 8. 23	褥瘡発生とアセスメント・治療・予防と管理	日本褥瘡学会	静岡市	特養看護	2
H26. 8. 29	介護看護従事者の為のフィジカルアセスメント	看護協会	静岡市	特養看護	2
H26. 9. 2 H26. 9. 30	喀痰吸引等研修（第2号研修）全10回	静岡県	沼津市	介護	1
H26. 9. 4	ターミナルケア入門講座		静岡市	特養看護	2

H26. 9. 4 H26. 9. 5	関東ブロック老人福祉施設研究総会	全国老施協	栃木県	施設長	1
H26. 9. 13 H26. 9. 15	応急手当普及員養成講習	富士消防本部	富士市	多職種	4
H26. 10. 5	認知症緩和ケア理念とタクティールケア	日本スウェーデン福祉研究所	沼津市	介護	2
H26. 10. 15 H26. 10. 16	新任職員研修 I	静岡県社協	静岡市	特養介護	2
H26. 10. 19 H26. 12. 7	H26 年度「感染対策支援セミナー」	静岡県病院協会	静岡市	特養看護	2
H26. 10. 20	地域密着型施設開設に伴う開設者等管理者研修	静岡県社協	静岡市	施設長	1
H26. 10. 28	看護師研修	静岡県社協	静岡市	特養看護	2
H26. 11. 6 H26. 11. 7	新任職員研修 I	静岡県社協	静岡市	特養介護	1
H26. 11. 10	老人施設における感染対策について	静岡県社協	静岡市	特養介護	1
H26. 11. 13	「平穏死」という言葉が生まれたわけ	県介護福祉士会	静岡市	介護・看護	5
H26. 11. 13	在宅生活を支える食生活支援			介護・看護	3
H26. 11. 18	リスクマネジメント・事故防止体策	静岡県社協	静岡市	介護・相談員	2
H26. 11. 19	福祉現場のリーダーの役割と人材育成の心得	静岡県社協	静岡市	特養介護	2
H26. 11. 29	「あなたの笑顔は私の元気」～リハビリの心と力～	富士市社協	富士市	CM・相談員	2
H26. 12. 2	より良いチームケアのためのとっておきの話	静岡県社協	静岡市	介護	1
H26. 12. 2	初任者研修会	富士圏域施設長会	富士市	介護	3
H26. 12. 10	富士・富士宮・芝川地区特養栄養士会	栄養士会	富士市	管理栄養士	1
H26. 12. 15 H26. 12. 17	ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	名古屋	特養介護	1
H27. 1. 8 H27. 3. 12	認知症介護実践者研修	静岡県社協	静岡市	特養介護	1
H26. 1. 14 H26. 2. 24	喀痰吸引等研修（第2号研修）全10回	静岡県	沼津市	介護	4
H26. 1. 19 H26. 1. 23	ユニットリーダー研修（全5回）	日本ユニットケア	静岡市	特養介護	1
H26. 2. 5	身体拘束廃止フォーラム	静岡県介護福祉士会	静岡市	介護	5

2.在宅部門

ショートスティ・デイサービス（ふようデイ・みぎわデイ） 参加人数 10 名

年月日	タイトル	主宰	研修先	職種	人数
H26. 5. 20	続・認知症高齢者支援講座	静岡県社協	静岡市	介護	1
H26. 6. 6	認知症介護予防講座	静岡県社協	静岡市	介護	1
H26. 6. 14	介護技術研修	介護福祉士会	静岡市	介護	1
H26. 6. 24 H26. 6. 25	新任職員研修 I	静岡県社協	静岡市	介護	1
H26. 10. 22	福祉サービス苦情解決研修会	静岡県社協	三島市	相談員	1
H26. 10. 31	社会福祉施設防災の日 総合防災訓練	富士健康福祉センター	富士市	相談員	1
H26. 11. 6 H26. 11. 7	新任職員研修 I	静岡県社協	静岡市	介護	1
H26. 11. 13	精神疾患とは 関係機関との連携について	静岡県社協	静岡市	介護	2
H26. 10. 22	福祉サービス苦情解決研修会	静岡県社協	三島市	介護	1

ふよう居宅介護支援事業所 参加人数 10 名

年月日	タイトル	主宰	研修先	職種	人数
H26. 6. 16 H26. 8. 8	介護支援専門員基礎研修	富士市高齢者地域包括支援センター	富士市	ケアマネ	1
H26. 8. 5	複合型ナーシングケア施設「もも」見学		静岡市	ケアマネ	1
H26. 9. 7 H26. 10. 21	介護支援専門員 専門研修過程Ⅱ	介護支援専門員研修	静岡市	ケアマネ	1
H26. 10. 3	国際福祉機器展見学		東京都	ケアマネ	4
H26. 10. 28	成年後見人制度研修	富士市社協	富士市	ケアマネ	1
H26. 11. 21	アセスメントの見直しから課題の抽出まで	富士市役所	富士市	ケアマネ	1
H26. 9. 7 H26. 10. 21	介護支援専門員 専門研修過程Ⅱ	介護支援専門員研修	静岡市	ケアマネ	1

吉原西部地域包括支援センター 参加人数 75 名

月	研 修 内 容	人数	月	研 修 内 容	人数
4	かもについて研修・健健推進委員との交流の為の講演会	1		ケアマネアセスメント研修	1
5	権利擁護広域ネットワーク研究会	1	11	稲川俊光医師リハビリの心と力講演会	1
	平成 27 年度に改正される「介護保険制度」はどの様になるのか	1		第 2 回在宅医療支援のための研修会	1
	防災マップ研修会	1		生活困窮者支援における伴走型支援のポジウム	1
	「口腔から見た在宅介護多職種連携のすすめ方」CMの具体的な役割	1		静岡医師会地域包括ケア多職種連携研修	1
	ご近所さんの運動教室指導者研修会	1		静岡県ふじのくに型福祉サービス実務者研修	1
	富士・富士宮地区 認知症疾患医療センター研修会・連絡会	1	12	H26 地域ケア会議運営に係る実務者研修	1
6	H26 相談援助スーパーバイザー育成講座	1	1	三士会合同研修会	1
	包括向けグループスーパービジョン研修	2		地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーションの役割	1
	鷹岡 HP 主催ユマニチュード研修	1		静岡県版在宅医療連携ネットワークシステムについて	1
	こころの健康講座「統合失調症」	2		多重債務問題に関する講演会	1
7	医療、健康領域の自殺予防対策研修	1		塩谷弁護士の基調講演とグループワーク	1
	パーキンソン病医療講演会について	1	2	富士圏域権利擁護広域ネットワーク研究会虐待シボジウム	1
	歯科医師会との研修会	1		認知症施策推進市町合同セミナー	1
	富士市介護支援専門員研修	2		医師会 静岡研修	1
	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 医療講演会	2		第 9 回法テラス地方協議会	1
	統合失調症と活用できる社会資源について学ぶ	1		権利擁護広域ネットワーク研究会	1
	湖山リハビリテーション病院の研修	1		地域包括ケアシステム構築のための研修会	1
8	介護相談員派遣等事業市町説明会及び介護保険とケア	1		竹端實教授基調講演とグループワーク	1

8	コミュニティーソーシャルワーカー養成研修	1		静岡権利擁護セミナー研修	1
	グループスーパービジョン事例検討会	2		富士市介護給付適正化セミナー	1
9	司法関係者との勉強会	4	2	介護予防ケアマネジメント指導者向け研修	5
	包括支援センター二次予防研修	1		地域包括ケアシステム構築のための研修会	1
	静岡 介護予防研修会	1		人権に配慮した相談対応研修	1
	静岡県高齢者権利擁護ネットワーク形成支援事業事例検討会	1		成年後見制度ネットワーク会議	1
	在宅医療支援の為の研修会（多職種連携向け）	1		ストレス障害と自殺予防	1
	事業所向け「返戻・保留まるわかり講座」	1	3	高齢者も障害者も誰も取り残されない地域をどう造るか	1
	高齢者虐待防止講演会	1		研修「医療と介護はどのように変わっていくべき	1
10	高齢者虐待対応現任者研修	1		静岡 施設士会研修	1
	2013 世界アルツハイマーデー記念講演会	1		静岡権利擁護フォーラム	1
	権利擁護広域ネットワーク研究会	1		地域ケア会議活用推進研修	1
11	市民公開講座「民法改正の影響」	1		参加者総数	75

資料9 リスクマネジメント集計(インシデント・アクシデント報告)

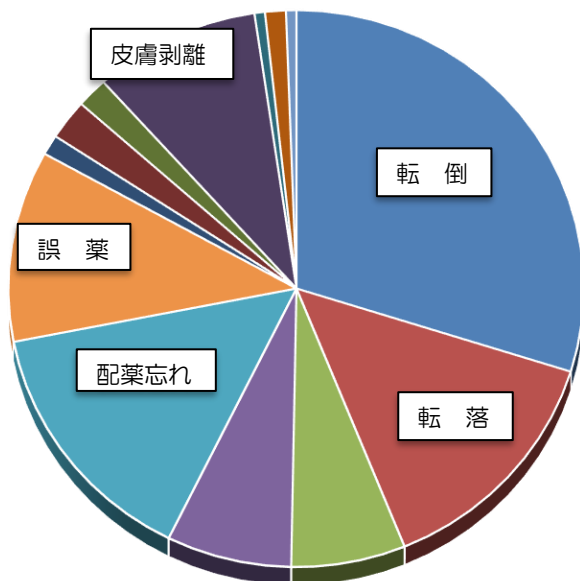
発生内容	件数
転倒	51件
転落	24件
ずり落ち・滑り落ち	11件
配薬ミス	12件
配薬忘れ・内服忘れ	25件
誤薬	19件
誤嚥	2件
異食	4件
入居者トラブル	3件
皮膚剥離	16件
打撲	1件
合計	168件

発生場所	件数
パブリック	41件
居室内	71件
食堂	36件
浴室	5件
トイレ	9件
介護S	2件
屋外	4件
合計	168件

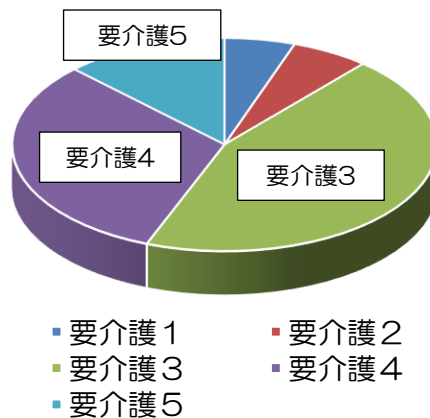
介護度	件数
要介護1	9件
要介護2	10件
要介護3	75件
要介護4	53件
要介護5	21件
合計	168件

- 転倒
- ずり落ち・滑り落ち
- 配薬忘れ・内服忘れ
- 誤薬
- 誤嚥
- 入居者トラブル
- 打撲
- 経管栄養接続ミス

- 転落
- 配薬ミス
- 誤薬
- 異食
- 皮膚剥離
- 無断外出



介護度別発生件数



資料 10 H26 年度固定資産取得・消却状況表
特別養護老人ホーム みぎわ園

資 産 名 称	取得金額 (円)	取得年月日	サービス区分	取 得 の 理 由
パルスオキシメーター	130,000	H26.4.30	特養	器種更新
都市ガス配管	1,252,000	H26.7.28	みぎわ園	都市ガス用配管敷設
スズキ ワゴン R	265,800	H26.8.4	ふようデイ	福祉車両(送迎)
ガスマルチ給湯器	2,920,000	H26.8.1	みぎわ園	都市ガスボイラー配備
多機能野菜切削調理機	271,000	H26.9.30	みぎわ園	業務効率化
電動昇降式リフト浴槽	223,000	H26.10.7	特養	リース買取
電動昇降式リフト浴槽	171,000	H26.10.7	ふようデイ	リース買取
駐車場入口舗装工事	1,404,000	H26.10.31	みぎわ園	職員駐車場砂利止め舗装
三菱ミニキャブ H15 年式	473,000	H26.11.4	みぎわ園	給食配色車両用
パルスオキシメーター	180,000	H26.11.30	特養	器種入れ替え
スズキ ワゴン R	289,000	H26.12.1	特養	福祉車両(送迎)
カーテン一式	211,000	H27.1.31	ショート	ブラインド仕様入れ替え
PC 寿命ソフトサーバー	1,838,000	H27.1.31	みぎわ園	PC サーバー入替更新
L A N 回線工事	578,000	H27.3.31	みぎわ園	園内 PC イントラ配線用
パソコン × 5	743,500	H27.3.31	特養	P C 入れ替え
パソコン × 2	297,400	H27.3.31	居宅	P C 入れ替え
パソコン	148,700	H27.3.31	ふようデイ	P C 入れ替え

看護小規模多機能型施設 みぎわの里

資 産 名 称	取得金額 (円)	取得年月日	サービス区分	取 得 の 理 由
建物 (木造平屋耐火構造)	73,810,000	H27. 2. 1	みぎわの里	複合型サービス施設開設
建物附属設備 (電気設備)	18,990,000	H27. 2. 1	みぎわの里	複合型サービス施設開設
建物附属設備建物附属設備 (給排水設備)	16,658,000	H27. 2. 1	みぎわの里	複合型サービス施設開設
建物附属設備 (空調設備)	7,804,000	H27. 2. 1	みぎわの里	複合型サービス施設開設
建物附属設備 (消火設備)	2,885,000	H27. 2. 1	みぎわの里	複合型サービス施設開設
構築物 (外溝・植栽)	8,883,000	H27. 2. 1	みぎわの里	複合型サービス施設開設
構築物 (立て看板)	205,000	H27. 2. 1	みぎわの里	複合型サービス施設開設
器具備品 (ベッド*10)	2,025,000	H27. 2. 1	みぎわの里	複合型サービス施設開設
器具備品 (特浴設備)	5,342,800	H27. 2. 1	みぎわの里	複合型サービス施設開設
器具備品 (ランドリー設備)	1,404,000	H27. 2. 1	みぎわの里	複合型サービス施設開設
器具備品 (配膳室備品)	856,000	H27. 2. 1	みぎわの里	複合型サービス施設開設
器具備品 (事務機器器具等)	2,266,000	H27. 2. 1	みぎわの里	複合型サービス施設開設

除却資産

資 産 名 称	取得金額	除却金額	除却月日	サービス区分	除 却 の 理 由
軽車両 (ワゴン R)	434,051	1	H26. 8. 1	みぎわ園	エンジン消耗廃車
軽車両 (ミラ)	168,000	1	H26. 7. 1	居宅事業所	エンジン消耗廃車
軽車両 (ミニカ)	163,000	40,753	H26. 10. 31	みぎわ園	エンジン消耗廃車
食器洗浄機	651,000	397,327	H26. 4. 1	みぎわ園	規模変更更新

資料 11 保守管理・業務委託一覧

保守保全内容	契約内容	回数	契約形態	業者名
消防機器設備	定期点検・行政報告	2回／年	年次	サンコー防災
ガス漏れ	警報機設備	随時	設置時	静岡ガス(株)
電気設備	定期点検	毎月	年次	鈴木 博
建物設備・特殊建物等定期検査	定期及び行政報告	1回／年	指名	平柳建築設計事務所
エレベーター・リフト	定期及び行政報告	毎月・随時	年次	マーキュリー・アセンソーレ
清掃・消毒点検	施設内環境整備	3回／週・随時	年次	ダスキン
利用者リネン	洗濯等委託	3回／週	年次	デイベンロイ
貯水槽清掃・水質検査	法定清掃・管理点検	1回／年	年次	ニッケン消毒
給食業務	調理配膳配送	毎年	年次	角 山
請求業務ソフト管理	ソフト保守・バージョンアップ	随時	設置時	ゆとり・PCシステム研究所
自動ドア保守・管理	定期点検・整備	2回／年	年次	ナブコ・システムズ
洗濯業務	利用者及びタオル類洗濯	4／週	年次	シルバー人材センタ

主な行事及びレクリエーションの記録



伊海千代様 100歳の祝い



西湖：錦秋の癒しの里散策



クリスマス会職員一座
水戸黄門様



昭和まつり駄菓子屋さん



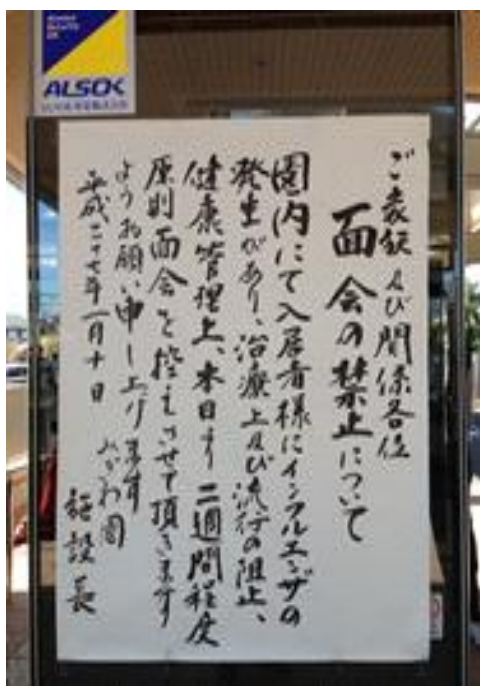
敬老会昼食お弁当



本栖湖：芝桜見学会



芝桜散策記念撮影



インフルエンザ発生時
面会制限案内